



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を通して、改めて原爆の怖さを知り  
ました。しかし、原爆投下の目的地や、熱線、衝撃波  
については深く知りたかったので、とても良い学びになり  
ました。

一番心に残ったのは、最後にお父さんが「原爆記念館で  
「キレイな子」と言ったひとことでした。私は、テレビなどで  
原爆のことをやっていた、当時がどんな状況だったか、知っている  
つもりでした。しかし、このお父さんの言葉を聞いて、  
実際はもっと悲惨で、その悲惨さを、当時のまま伝え  
てほしいの「子」と思いました。戦争、原爆を経験  
して方々が「御存命である間に、しっかりと当時のままの  
状況を、この先伝えていきたい」と思いました。私がか  
考している「原爆の恐ろしさ」を子どもに伝え、また子どもが原爆  
が日本に投下されたこと、それによって9月8日の命が失わ  
れたこと、それらを決して忘れてはいけないと思いました。  
そして核兵器が「進歩する今、実際に原爆を落とされた国  
として、日本は核兵器反対という声をあげ続けるべきだ」と思  
いました。これから担う世代として、原爆という問題は  
無関係ではなく、大切な課題だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

横浜も原爆の候補地の一つだったと聞いて、内心震えてしまった。もし横浜は空襲ではなく、原子力爆弾が投下されていたら？ 考えるだけでも恐ろしい。私たちは生まれていなかっただろう。首都である東京にも影響がなかっただろう。

しかし、このように自分に投映して広島・長崎の原爆投下について考えてみれば、実際に投下された地域で本当なら生まれてくる命は生まれなかったし、広島市以外にも影響があった都市はあったはずだ。私は無意識的に心のどこかで「自分じゃなくてよかった」と考えていた。

私だけでなく、きっと世界中の人が何か惨事があったとき「自分じゃなくてよかった」と考える。地震や災害やテロ、はたまた戦争……。だが人は、自分がいざ当事者になると、このように傍観する人に怒りを覚える。これは矛盾しているようだが、人の真理として正しいことなのだ、と私は思う。

しかし、少しでも自分が当事者となった経験を出して、当事者となった他人に寄りそうことが大切だと今日の授業を通して思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで広島原爆の話などは色々な所で耳に聞きました。しかし、  
 今回ほど力強く、熱弁して下さいのは原爆先生が初めてでした。  
 歴史の勉強などで基本的な知識は持っているつもりでしたが、実際に体験  
 された方のお話を直接聞かれた方の前ではほんの一握り程度だと実感しました。  
 現実を思っていたよりも残酷で目をむけたくなるようなことだったと痛感  
 しました。  
 広島に原爆が投下されたのは、言い方が悪いですが予定通りで、長崎には偶然  
 の産物によって投下されたというのも今日初めて知ったことで驚いています。  
 もしも、原爆投下の候補地に横浜が残っていたら...、他が悪天候で  
 横浜に原爆が投下されてしまったら...。自分が生まれる前の話ですが、  
 身震いするような恐怖を感じます。  
 さらに、当時くらべて技術が発達した現在では何倍も、何十倍も  
 強力な原子爆弾が作られていると考えれば、今後の国どうしの関係によっては  
 広島や長崎での悲劇をもう一度繰り返す...なんて恐いことも絶対に無い  
 とは言いきれないと思います。それだけは絶対に避けなければいけません。  
 実際に戦争を体験された方々は歳的に、多くを語るのには難しくなって  
 しまっていると思います。そこで原爆先生のような親から語りついでいる人の  
 話を私達が真剣に聞いて、次の世代...さらに次の世代へと伝え、悲劇を  
 繰り返さないようにすることが私達ができる最善のことだと思います。



名前は表面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

以前、原爆資料館に行き、変形したビンや止まった時計、そして焼け付いた二人の模写を見たが、残酷で目をそむけてしまいたくなるものばかりだったが、現実ではそれより遙かに生々しく残酷で人間が人間でないようなことを知り、原子爆弾がもの凄く、そして、そのような悲惨なものを作り出してしまふ人間そのものに恐怖を感じた。人の手で簡単に滅ぼすことのできる世界は今まに存在していると思つた。

今回のように実際に体験した人が語ることを話しているという機会は初めてだったので、話したいという思い、後世にもこの悲惨で恐ろしく、あてはまらない出来事を伝えていかなければいけないと自覚した。

一瞬で町が破壊され、人が灰になり、焼け付いて...と今この場でそのようなことがおこらばどうしようと考えるが、想像もできず、今のこの生活がどれだけありがたいことなのか、身を持って実感した。私は数年広島にいらして来たが、この悲惨な出来事から目をそむけていたのは怖いという理由だったのかもしれない。今回の話を聞いて修学旅行でしっかり自分の目で見ようと思つた。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生のお話は終始、緊迫感があり、池田眞徳先生がお父様の義三さんを第一人称としてお話し下さったの2と2も理解しやすい臨場感もありました。私はいままでの歴史の授業2表面的な部分しか学んで来たの2ですが、今日の授業を受けて、もっともっと深く、知識とかけ離れたものを得たような気がします。被爆された方々はもちろんのこと、幸運が重なって助かった者の中の一人、義三さんほどのような思いで死に体処理をしい戦後の人生を送られたかと思うと胸がしめつけられる思い2つ1主け2る2、原子爆弾というものがどゆた2たかを持ち、恐ろしいものが、先生から強く伝わってきました。日本は負け2、降伏する直前に、自爆実験のために、落とす多数の日本人の命を奪ったアメリカを許せばいいです。私2らのような若い世代は戦争を止2つ1学ば2、30年以上、戦争下を生き2日本人一人一人に身に2つ1る2ことのない2つ1に国をつくるという意識をもちたいけい2つ1たいませぬ。

原爆先生に質問した2際、先生がおっしゃった2「語り継ぐ2たい2つ1きない。た2つ1人間一人の話を開いた2つ1て2つ1覚えている2つ1たい2つ1しよ。私2つ1は2つ1たか2つ1私2つ1の話を開いて2つ1た2つ1も興味をも2つ1知ろうと2つ1くやる2つ1きかけ2つ1たい2つ1は2つ1る2つ1たい2つ1」というお言葉が2つ1も印象的2つ1した2つ1。正確か2つ1一回聞いて2つ1語る2つ1ほど2つ1簡単2つ1なもの2つ1は2つ1たい2つ1思2つ1います。今日吸収した2つ1ことを2つ1いい2つ1留め2つ1、5月2つ1に2つ1実際足を運ぼう2つ1と思2つ1いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆はひどいものだった。文字通りなのですが、大きな  
 イメージでレカ打ったのが、とても詳しい状況が分かったような  
 気がします。原爆先生のお父さんが実際に原爆にあった人  
 だということが少し、不思議な感じがしました。というのは、とても  
 最近のような気がするからです。そのお父さん、義三さんの手記は  
 私の想像を絶するものでした。人の手とすると皮膚がずる、と書いて  
 はがれて手と手がはなれてしまうなんて、見たことも、聞いたことも、考えた  
 こともなかったからです。また、爆心地では人が一瞬で消えたような  
 光景を見たというのにもとても驚きました。体中の水分が一瞬で  
 なくなり、炭となってくずれ落ちるなんて、考えられません。  
 また、今回はアフリカ側の原爆の体験も知ることができました。  
 私はアフリカ側のことをよく知らなかったので、とても勉強になりました。  
 そこで私はなぜ2つも原爆を落とす必要があったのだろうかということに  
 目が行き、受講後に原爆先生に質問をしに行きました。すると先生は、  
 「WWⅡの先勝国である中国やソ連に日本の領土を渡さないために、  
 国力を見せつけるためのものだったと私は考えている。」と答えました。  
 戦後の領土問題のために多くの広島や長崎の人が犠牲に  
 なったと思うととても胸が痛みます。七五被爆者や義三さんのような兵隊さん  
 のために私たちが今できることは、原爆をよく知ることに  
 する「第一だ」と





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

以前、広島の平和資料館に行くと、ここでありて、や、ほり人から話せる言葉というものは不思議と心動かされました。

に、に一つの原爆で一つの町と多くの方々が亡くなり、[2]報爆してはうのは本当にあつてはならないことと、悲しいものだと痛感しました。

私たちは、教科書を開いて、[2]人から聞くことで分かる表面的な部分しか知ってはいないと思います。今日のお話を聞いて、思い持ちは抱くことが出来たので自ら学んでも、知りたいてい。そして日本として、このことを忘れるに自分の子孫に伝えることが大切だと思いました。

もっと多くのトにこのお話を聞いて考えたいと思います。

衝撃的でした。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私が知っていた原爆は、1945年8月6日に広島に落ち、  
 8月9日に長崎に落ち、爆大な被害をもたらしたという事でした。  
 しかし、原爆は私たちの想像以上のもので、先生の話と聞い  
 ると、本当に同じ人間がした事なのか、被害を受けた人たちの  
 想像の出来はいぐらいのやけどせけが、また原爆の被害のために  
 亡くなった人たちや、いまだに原爆病と戦っている人たちがいるという  
 ことを知りました。私たちは、戦後70年たった今も生きるから、  
 戦争の事にはふれる機会は少なく、戦争とはどういうものなのかを詳しく  
 知らず、また資料館などに行っても、実際とは違ふ、あんなに生々し  
 いものではないとおっしゃっていたので、まったく戦争のおそろしさを  
 本当には分かっていまま生きていくのだと思うけど、こんな悲しい  
 出来事がもう二度と起きてはならないという事を子供や孫に伝えて  
 いかねければならないと思いました。しかし、今の世界には  
 あの時の千倍以上の原子爆弾があると知り、なぜ被害の大きさ  
 や、被害者の苦痛や悲しみを知りながらも原子爆弾は存在  
 するのかと思うと人類のおそろしさを知り、私たち、日本人が伝える  
 べきこと、子どもたちに伝え将来に残していかねければ  
 いけない事だと思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

爆撃手は笑っていた。日本人も笑っていた。

でも次の瞬間、一方の笑顔が、消えたのだ。勿論、日本人の笑顔の方。それに、笑顔だけでなく尊き命を、跡形もなく破壊してしまった。かろうじて失うことがなかった命の主も、生涯苦しみを背負いながら必死に生きなければならなくなってしまう……。

果たして、爆撃した当時のアメリカ人たちには、そんな思いや考え方が1ミリもなかったのだろうか……？

私は原爆の力を目の当たりにしたことはありません。そして今タイムスリップして過去のアメリカに「投下をしないでくれ」との願いも伝えることができません。今まで全くといって良いほど知らなかった原爆について、原爆の恐しさなどを本日もと理解しましたが、「私にできることは何か、を考えなければならぬ」ことに気付きました。

「何ができる？ もっと多くの人に自分から語る？」

それも考えましたが、何だか語り継ぐことは少し失礼な感じがします。池田先生のお父様(義三さん)もおっしゃっていましたが、今の記念館と実際の体験には大きな差があり、体験者の苦しみを本当に正確に後世に伝えるのは不可能……だと感じるのです。口下手な私なので、自分の考えを上手く表せそうにありません、申し訳ありません。

しかし私は確実に、池田先生とそのお父様の思いを受け取ること

ができた気がします。いえ、できました。

なので、まずは修学旅行にて実際に行き、今回の池田先生たちの一言一言を思い出し、噛みしめながら、原爆の出来事をもっとも、とよく理解し、自分にできることを見つけていきます。

過去のこと……いえ、これから先も続くこと、そう思う私です。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/19

最初特別授業を受講する前は、とても怖い、聞いた方が  
いいのだが、恐ろしくて聞きたくないという拒絶があった。池  
田さんは最初に私達にさせた行動は、持っていた資料、ノ  
ンなどを床に置くという事だ。理由は話している  
時に雑音を出さない為だ。音が聞こえたり、皆の集中力が  
切れてしまうから。その集中して、ちゃんと広島原爆の話  
と向き合え、欲しいという池田さんの思いが伝わった。  
私は、その行動だけで、最初にあのよう考えた私が少し  
非常識に思った。話を聞くにのめって思ったことがいくつ  
かある。時々人々が口にする「無知というものが一番怖い  
」これは本当のことだと改めて思った。私達は歴史の授業で  
どの様な知識か、ほとんどなかったが、今回原爆の事を  
学んで色々な知識を得た。これもまた知らないことが  
たくさんあると思うが、知ったこともたくさんあった。もう一つは、  
最後に見た映像から、やはり、その知識が豊富にある人が  
伝えるのと、元の事を経験者が語るのでは、私達にとって、  
どちらも、ありがたいことだが、元の事に関して、直接関わった  
からとわかる何か重みを感じた。経験とは色々な事  
から大切という事がおかった。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

私は、原爆を体験していません。でも、痛みや苦し、辛さを  
 感じることはできません。想像してみたら、きっとその想像な  
 らぬほど実際のものの方が過酷だったと思います。これは、  
 どんな痛み知らずの私たちに、今何が出来るでしょうか。本当の恐  
 るしさを体験して欲しい自分たちのやるべきことは何なのでしょうか。  
 私は、「知る」ことだと思います。確かに私には今現在、  
 どの程度か平和の中で生きています。多くの問題を抱えている  
 のかもしれないが、それでも当時の日本と比べて、どう考えた  
 って幸せなのである。私には、幸せの中で生きています。故に、  
 "有り難さ"をあまり感じられなくなっています。当時のことを「知ら  
 ない」ので。"知らない"ことは恐ろしいことです。知らなければ、  
 そのことについて考えたり思い悩むことさえ出来ません。  
 ともあれ、無知は私たちに出来ることは、「知る」ことな  
 らないと思います。逃げたとしても、私には関係はないと言  
 った、何も進まない、何も解決しません。実際には原爆  
 を体験した方々、本当の恐ろしさを知っている方からお話を聞  
 き、その時感じた思いや痛みを、レベルに留めたいと思  
 いました。この体験したことを忘れないでいることが、せめて  
 この私たちに出来ることだと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

私が今日一番心に残っていることは、手の皮がはがれ落ちてしまうという話です。他の人を助けようとして手をさしのべてもお互いに痛いという部分もとても印象的です。想像できない程の痛さが被爆者にはあったのだと思います。

原爆を投下したアメリカだけが悪いのではなく、日本にも非はあるのではないかなと思っていました。アメリカが日本に原爆を投下したことも、日本が諸外国に対し占領や割譲したことも悪いと思いました。

1945年の8月、日本でいったい何があったのが詳しく知りませんでした。原爆は怖いものであることは知っていたけれど、周りが見えなくなる程の光が放っていたことを知りませんでした。周りが見えない状況で物体が飛びかう中で、原爆と戦った人たちは本当に怖かっただろうなと思います。

二度とこのようなことが起きないことを願っています。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

自分が想像していたものとは違っていたし、自分がどう  
 していた原爆に新たに知った事もあった。それは、最初から6日が  
 広島、9日が長崎という事ではなく、①広島②小倉③長崎  
 と候補をやらせて、天気が悪かったり次の候補に行くという事、  
 その前に候補に挙がっていた都市には上の3都市以外にも横浜、  
 新潟、京都と大都市の名が挙がっていた事。横浜は候補に  
 外された次の日に大空襲になったが、池田さんもおっしゃっていたが  
 なんらかの関連があったんだと思う。そして京都はアメリカの学者達が  
 強く候補に推したのだが、候補に外れた理由の一つに古くからある  
 重要文化財がある事があった時は驚きだった。なぜなら、日本人  
 々を苦しめるためならなにをしてもいいという考えをアメリカの人は持  
 ていると思っていたから。

モーフは太陽の表面が6000℃にもががわらず、原爆の中は  
 100万℃と太陽より高いなど想像もつがなかった

この特別授業を聞いて、この悲惨な出来事を二度とおこらない  
 と同時に、次の世代、その次の世代へとただ悲惨すぎたと言  
 で終わらせるのではなく実際の映像を見せる事によってこのよう  
 な事を100年、1000年先に伝えていきたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の話を聞いてすごく衝撃的だった。  
まあ、原爆を落とす候補に横浜が入っていたことに驚いた。  
候補は広島と長崎の2ヶ所と初めから決まっていたと思っ  
ていた。又、自分が今住んでいる横浜に原爆が落とさ  
れていたら...というのが、想像出来ないからである。実際、  
小倉は操縦士員が3回失敗したこと、燃料不足になりそ  
うだったこと、天候が悪くなったこと、というだけの理由で原爆は  
落とされなかったのに対して長崎では、川原町が見えた、と  
いう理由で原爆が投下されている。そんなだけの理由で  
原爆が投下される、されない、が決まるというのは恐ろしいこと  
だと思った。又、原爆の衝撃波で上昇気流が起これ、それ  
により熱があつまる。原爆の衝撃でとくならなくともその後  
の熱により多くの命が失われる。災害が何度も重ったように  
感じ、熱がなければ多くの命が救われたかもしれない、そう  
考えると原爆に対して恐怖をおぼえた。この原爆  
でさえ、1kgのウランしか核分裂してはいない。先生が言っ  
ていた広島の何倍ものウランが含まれた爆弾があるのは  
とても怖いと思った。原爆について今日学ばることが  
出来るとも良かった。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/14

タイトルの「7000℃の少年」の意味が最後の最後まで

わかりました。この「少年」のほんの一部が、広島や長崎の町や人の人生を狂わせ、多くの人々に恐怖を与えたかと思うと、想像がつかないぐらいの恐怖や不安を覚えます。

今、私たちが住んでいる横浜も70年前に原爆投下の候補になっていたとは、本当に驚きました。

そのことを聞いた時、私は一瞬「横浜でなくて良かった」と思いました。そう思った直後、「なんで私は自分勝手な人間なんだろ。70年前に、原爆を投下され今もお苦しんで、みんな敵とバカの中でかろうじている人がいるというのに。」という思いが胸をこみあげてきました。

今現在、日本が70年間もの長い間、他国と戦争をせずにこたえたのは70年前に、大切なものを失った痛みを一生懸命に強く後世に伝えてきた人たちの賜物だと思えます。

そんな方々の努力のために、私たちが胸をはって恥じずかしくない生き方をしたいです。



じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いて、改めて戦争は恐ろしいと思いました。

実際に原爆が落ちる時の映像などを見て、残酷だと思いました。原爆の大きさも自分が想像していたのより、はるかに大きくて驚きました。

広島に今度修学旅行で行くときは、戦争で亡くなった人、けがをしてしまった人などの事を考えていかなければいけないと思いました。

もうこんな恐ろしい戦争は二度と起きてはいけないと思いました。

だから、私たちは平和を守り続けなければいけないと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、原爆の怖さを改めて感じました。

広島に落ちた原爆のウラン60kgのうちの1kgしか燃焼していはいのに  
 広島市内一帯を破壊して、もう威嚇に恐ろしいなと感じました。

また、それが当時の技術が、さらに大きなものであったり、広島市内だけでなく、隣の市または広島県一帯を破壊してもおかしくはないと思いはした。

原爆を落とす候補となった地に横浜が選ばれていたというのを初めて聞いたお話だったので驚きました。横浜に学校のある場所があるし、身近な町であるので落とされていたり原爆に対してもっと別の感じ方があったのかもしれないなと思いました。長崎に落とされた原爆は偶然が重なって落とされたのであって、雲の切れ目から長崎の街が見えなかったら犠牲にばみかはいけなかったのだと思うと残念ではなはいです。

また池田義三さんのようにトラックが遅れにいけなかったら、ドラム缶が近くにはなかったら守られなかった命もあるのだと思うと自分がいる場所運命が大きく変わってしまうのだなあと感じました。兵隊であるから軍部の命令であるからといって死体の処理をさせて下さずにいると思うと本当に辛いと思うばかりです。聞いたお話は本当に身が痛いような内容がロケタの内容で幸か不幸かわかりませんがそれが事実だと私たちが聞く原爆のお話には美化されているものがあるのだなと思いはした。

今回はお話を聞くことができて良かったです。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

私が原爆を恐ろしいと思う事は何倍も事実は恐ろしい  
 ことだに思うと思いました。時々目をとじて自分が焼け野  
 原に立っているところを想像します。それは考えているだけで  
 私の頭は恐怖でいっぱいになります。でも、実際におこった  
 その事は想像よりも恐ろしいことで、一瞬で消滅して  
 いった熱と痛みが私を苦しめた。生きたその事実を  
 その目で見た人を苦しめてあげて、受けて痛みは、その後様々な  
 形で受けつけて、そんな風に大切な人を失った人も多く  
 いて、お考えされたいほどの悲しみや苦しみがあつたに  
 して、私には想像するしかありません。そんな想像に  
 して苦しいのに、想像以上ではなかった。事が今、原爆先生  
 の授業を受けて心に残りました。きっと私はこれから何回も今日  
 聞いたお話しを思い出して考えると思ひます。原爆投下を  
 正当化する意見がありますが、たとえどんな事があるても、こ  
 んな事許されるわけはないと思ひました。それに、この事  
 は私に想像する事の何倍ものことだといふので  
 思ひました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/14

私は、親せきに広島、長崎出身の人がいるわけでもなく、旅行でいったという経験もなかったのに、今回初めて“生”の原爆についての話を聞きました。

「原爆」といえば、テレビで特集を見ると「人が一瞬で影に落ちてしまう」などとよく耳にします。しかし私は、人が一瞬で影にたるとして有り得ないし、何かの比喩表現かとは思っていました。しかし、池田先生のお話を聞いて、納得しました。同時に有り得ないと思う事が起って来うのが原子爆弾炸けたと痛感せざるを得なくなりました。

母が原爆資料館に行ったことがあると私に話してくれたことがありました。母は、被爆した女性が腕を余計な前に下げて歩く様子のろく人形が怖かったと言っていました。

しかし、池田義三さんは「綺麗すぎる」とおっしゃったろくです。母が見て怖いと思った人形が綺麗すぎるとは、実際に見ていたらどれだけの恐ろしさなのかと胸があくむ思いがしました。

教科書に載っている情報が学んだつもりになっていたことがとても恥かしいと感じました。修学旅行では、池田先生の授業を心に留めて、広島に行きたいです。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆とどこに落とすかと決めている人達は、どんな気持ちで会議をしているのだろうか、その人たちの心を疑ってしまいました。なるべく原爆による被害が大きい所を「選ぶ」というのは、多くの人が「七くなる」というのとほぼ同じで、同じ人間なのに、自ら望んで、多くの人の命が失われるような所に原爆を落とそうなんて、どんな気持ちでそんな事を話しあっているのだろうか、悲しくなりました。

行った所のゴルフボールは、1本の身体の何十分の1というとても小さい物の所に思わぬ所。しかし、ウラニは、ゴルフボール1つあれば、何万人の命を奪ってしまうと知って、驚きました。

広島や、長崎の様子を、私は実際に見ていません。今日の話を聞いた時に、鳥肌が立つくらい恐ろしかった。実際に生で現場を見た人の声を聞く事ができて、よかった。生であの衝撃を受けた人が、今こうして私たちにその時の事を話してくれていると思うと、その精神の強さと尊敬します。私はとても弱い。本当に正しい事があつてはいるし、せつ意を失ってしまっています。今は恵みをお返しとして、目の小さな善意に感謝しなくなっていると思いました。義三さんにとって、昔の悲しい記憶を思い出して話せるのは、苦い事だと思っています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

今回、この方に特別授業が無かったら私は、と無知な私に  
 広島の人々、原爆に黙っていただけだろうと思いきや、広島原爆は「黒い雨」と  
 いう知識はありましたが、やはり直接聞く言葉や音、写真動画は  
 与えられず、このように思いました。

又、原爆が落ちてくる瞬間に横浜に入っていたことが今回で初めて  
 知りました。もしも横浜が原爆を落ちていたら私は生きていたかもしれない  
 と思うと、今私「原爆は私が生れたより前の事だから、とか横浜から広島  
 長崎は遠いから」と他人事のふりをしてきたか、他人事のふりに思っている  
 出来はしていません。他にも、今回 受講し初めて知った事がありまして  
 自分が「これは原爆を撃ち落とす」と分かった。

当時の軍の命令により、大人の男性が泣いては行けずと苦しく辛い経験をした  
 ことから、当時の軍の圧力はどれほどあったのだろうと思いきや

最後に池田義三さんのVTRで当時の出陣事を涙しながら語っている姿  
 を見て、今回の受講で私には色んな事を知らなかった、と気付かされ、私には  
 私の想像を絶するものがあるのだろうと思われました。当時の出陣を涙しながら  
 後世の物語のために語り下すのは本当に有難い事であると改めて実感  
 しました。

この方は貴重な授業を以下、有難うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業で、私達が普段、見たいものとして  
 されてきた事を見る事ができたと私に思いました。  
 本音を言ってしまうと、今まで「原爆」という言葉をよけよ  
 げから毎日をおすごししていました。今回の授業を聞いてはじめて  
 をうけました。私達がよけよけにしている今日、原爆  
 が「投下された」と考えた「けどもこのやいばあ。このやいばあ  
 いか、文章として、決して表すことの出来ない感情がこみ上げ  
 てきます。実際の体験者の方のお話として聞くのも  
 つらかったです。私は今回、人間とは怖い生き物なのよ  
 という事を感じました。原爆を作って、投下して、遠くで見ると  
 人間。それをうけて、ひたすら生きてるのも人間、死んで  
 見られるのも人間。怖くて、もろい人間。今を生きる私達  
 にとって、原爆投下は過去の事であり、遠い存在です。  
 年々「気憤」をうけて世の中人間といふか、考えるのを  
 やめていく人々が増えている今、私達はこのような機会  
 をもってくれただけな事を大層うれしく思っています。忘れて  
 しまいたいという思いにまけない、強い人間にたれたいと  
 思いました。今、一瞬一瞬を生かせることに喜びを  
 かんじています。



じゅこう

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日100分の間原爆先生の話を伺い、自分の中々考えさせられることがたくさんありました。広島長崎に原子爆弾が投下されたという現実は今までの中でも身に打つ機会がたくさんありました。その中身について、自分は何時から知っていた、知ろうとした時点を心に痛感しました。そして自分や自分の家族、友達が生きたのがあの時代の広島だったと想像することが、恐怖がおこります。

また、原爆投下の目標地の候補に、自分が住んでいる横浜も入っていたことを知り、この出来事は全く歴史とは違うものだと感じました。

先生の話してくださった内容の大切さは、聞いていたとしても耐えかねるものがありました。現代に生かされている幸運については、必ず聞いてほしいと打ち込みたいけれど、知らず知らずのうちに思っています。反対にいくら幸運が心に刻み込まれても、実際に原爆に遭った方々の苦しみはわかりたいと思うことがあります。

思っています。今何の自由も暮らしている自分は、この上無い幸せであり、こんなにも幸せな時代に生かされていることに感謝をしたいと思っています。

現在では、核を保有している国は決して少くはない、同じお国々々以上の誇りを人間がおかしてしまっているように、自分が平和を築きあげようとしていきます。このように機会を与えてくださり、先生にこの授業が学校から足運んでお話してくださることに、心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のしくみなどがくわしくわかった、  
 これから修学旅行で資料を見なければいけないのが怖い、  
 あと、けっころ爆心地の状況もわかってい  
 るんだねと思った、  
 動画で見た映像はけっころ衝撃的で、前に  
 見た火山の溶石が流れてくるよりも大き  
 かった。その中で生きていける人がい  
 るのか逆に  
 かわいさを感じた、  
 こんな小さい地球でこんな爆弾がた  
 ちまると、狂った感じがする、その爆  
 弾を怖い存在のように感じる、  
 本当は怖い、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は前から第二次世界大戦というものがあり、そして  
 1945年8月6日に初めて「原爆」ということがあったという事も  
 知ってました。けれど詳しくはやはり知らなかったです。  
 今回このように機会があって本当に良かったと感じています。  
 まさか原爆の内容を知る事も大事ですが、  
 知ろう、学ぼうとあることの大事さも知ってほしいと  
 思います。何事も知ろうという意欲がなければ知る事が  
 出来ません。もっと言えば知る事も出来ないので。  
 今戦後71年という中において今自らの立場に感謝して  
 永遠にこのような事はあってはならないと心から活躍する  
 未来の人達に伝えていかねばならないという事が  
 今生きる私達にとって大事な事なんだと思います。  
 今もこの地球のどこかで争いがあり何人も人が生かされている  
 ことの方がずっと多いというのを改めて思い知りました。  
 「原爆」を他人事のように思わぬ、一つの事に関心をもち  
 平和とは何か、平和を続けていくにはどうすればいいのか  
 考えなければならぬことをもっと重く受けとめることから  
 始めていかねばならないと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私達にとって原爆というものは日本史や世界史で学ぶ文字や紙の向こうの出来事で、実際にあったということは分かるけれど、それがどんな風にやっできてどんな風に人々を殺していったのかを実感できていなかった。

けれど今回の特別授業では原子爆弾にどの程度のウランが入っていたのかやどんな人が原爆を落としていったのかなど細かいところまで知れて、やっと、私達はあの日、広島や長崎で何が起きたのかを知った。

あの1kgのウランがどれだけの人の生をうばっていったのかを考えると心が痛むし、そうやって軽々と命をまるでアリでも踏みつぶすかのように消し去った人とならざるを得なかった戦争というものが恐ろしいと思った。

だからこそ私達は、その日のことを忘れてはいけないし、くり返さぬよう後世へ伝えていかなければと思うと共に、それが決して昔のことではなくこれから

起こりえることなのだと知っておかなければならない。

その思いを胸に修学旅行で広島へと訪れ、私は何が起きていたのかをあらためて認識しようと思う。

お話ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私が小学五年生の時、父が長崎に単身不任し夏休みも冬休み  
 ない、何度も私は原爆資料館を訪ねました。その後家族旅行で  
 広島にも行きました。私は原爆についての知識を持っておりました。  
 原爆はおそろしいものがありもう二度と使ってはならないという事実は私の  
 頭の中に残っていました。資料館を見学していた時に感じた恐怖  
 覚えていたとは思えないほどのものがありました。覚えていたけれど「ならない  
 のだ」と頭の中で理解はしているのですが、これよりも楽しいことを考え  
 たいと無意識のうちに忘れようとしていたのだと思います。池田先生  
 の話し方は実に特徴的で、私が資料館を見学したものが次々と  
 思い出され私は見学した時のように涙が出ました。アメリカ人の  
 中には原爆投下は戦争を終わらせるために必要だったのだと正しい  
 事なのだと言う人がいるそうです。この被爆の話を知り、資料館を見学  
 しても同じ事が言えるのでしょうか。もちろん戦争が長びいたら単に死者は  
 もっと沢山出たがもしれません。でも原爆が正義だと考へないで  
 欲しい、と私は強く思いました。私が忘れていた感情とアメリカ人の考へ  
 るのは知る機会が触れ合う機会が少なかったからなのだと思います。  
 そういった貴重な体験が出来たことに感謝し、この「恐怖」という感  
 情と向き合ふことにしたいと思います。それが今の私に出来ること  
 なのだと思っています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業では、広島・長崎の原爆投下2日ともお話しを聞きました。私達高校一年生は世界史や日本史の中で起った出来事として、普通に何も考えず「1945年8月6日広島に原爆投下」、「1945年8月9日長崎に原爆投下」と、テスト勉強に励み、日付や年号、場所だけを文字だけで覚えていました。しかし今回の特別授業を受講し、この2日間の悲しい出来事は、文面だけでなく、しっかりと内容を知ることが大事だと改めて思いました。

私達は5月に修学旅行で広島に原爆のこころを学ぶに行きます。しかし、今日池田先生のお話しを聞いて、今の私の知識の少なさは、まだ広島に行くべきではないと思いました。しかし、原爆の事を調べ学ぶ、現地で学ぶ方がいいんじゃないかと修学旅行で学ぶに行き、それを後世に継いでいくことが大事だと思います。

私、今の日本は、近隣国と少し不仲であります。それは、他の国もあります。今の国は原爆を強く、確実に成功地を技術が物であり、今でも保持している国はたくさんあります。二度と原爆投下が起こらないように、隣国外交を、武器などで話し合っているのです。また、安倍内閣が提案している「集団的自衛権」は、向か良くわかりませんが、原爆投下についての子供の道ではないのでしょうか。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私はここまで詳しく原爆のお話を聞いたのは、はじめてでした。初めて知って衝撃を受けた話がいくつもありました。

1番ショックを受けたのは広島<sup>の</sup>原爆では60kg<sup>の</sup>おたウランがたったの1kgしか核分裂しただけなのに、関わらず、広島<sup>の</sup>広はん圏が被害を受けたという話です。現在ではその千倍もの力をもつ核兵器を保有している国がたくさんあると思っても、核戦争が起きたら間違なく人類は滅びて地球も破滅してしまうとゾッとしました。

それと目標の候補になった都市に横浜があがっていたことも驚きました。2番目の都市が本当は長崎ではなく小倉だ、ということも初めて知りました。

広島・長崎への原爆投下はアメリカにとって実験の意味も含まれていたという人の命を軽く見ってしまう恐い戦争をおこしてはならないと思えた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/14

教科書やテレビで見て、聞いていた話と今日聞いた話は全く違いました。

今日のお話は実際に原爆が投下された当時兵士として働いていた義三さんの手記をもとにしたものだったので、被爆された方々や街の状況がはきりと想像することができました。

今まで聞いてきた話よりも内容が明確で分かりやすく、原爆の悲惨さや深刻さを実感することができました。

戦争が終わり、70年が経ち、原爆の恐ろしさを語る被爆者の方が減っていると聞きました。私達の世代が原爆や戦争について学び、後世に語り継いで行かなければならないと思います。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講し、初めは疑問がたくさんあった。実際に原爆がどのような計画の元で投下されたのか、また、そもそも原爆とはどのようなものなのかという事も詳しく知る事が出来た。原爆は広島と長崎に投下されたけれど、自分たちが住んでいる横浜の町に投下される可能性もあったのを知り、とても驚き、また恐怖を感じた。

また投下された時のことに関する映像を見、原爆は本当に一瞬にして広島と長崎の町を破壊していったのだという事も知った。その場において、被爆した方々のことを考えると言葉では表すことの出来ないような感情に陥った。「原爆」とはどのようなものだったのかを、詳しく教えていただいたことで、新しく知ったことがたくさんあった。原爆の温度は太陽の温度を超えるものだったということ、また考えられなかったスピードで投下されたということ、またその原爆を投下された爆心地にいた人の身に起った出来事。どれも信じがたい事柄であった。

戦争が終わってから、また原爆が投下されてから今年で71年目になる。被爆者の平均年齢が80歳に達したと聞いた。これから誕生する世代の人たちにも昔、この土地に何が起きたかという事をしっかりと伝え継いでいくことが大切だ、そのことが私たちの世界の今後の「平和」につながっていくのだと思う。決して忘れることが、今後もしっかりと考えることをしていくのが大切だと知った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して、実際に体験した方の話を聞くことができ、貴重な経験だった。本や歴史の資料集で読んだり、見たりするものとは迫力が違ふし、言葉の重みや出来事のリアリティがやはり違ふように感じた。私の身近な人（例えば「祖父母」）戦争を経験した人や戦時中に生まれた人がいないので、今日原爆先生から聞いた事実、実際に体験したお父様の感想を家族にも伝えたいと思う。

私が今まで戦争や原爆について知っていた出来事は「た」の歴史の一部であり、被爆者や被災者の言葉では語られたものではなかった。そのため修学旅行で訪ねる時も軽い気持ちで「観光気分で行こう」としていた。今考えるとそんな自分を恥ずかしく思う。今日教えてくれたことをきちんと心に刻み、広島を訪ねたいと思う。

また、今日聞いたり観たりした経験を自分の心の中だけでなく他の人（弟やそれほど若い世代）にも伝えていきたい。話の中にもあったが、原爆の約1000倍の威力を持つ核兵器を保有している国が多い現在の世の中を私ひとりで変えていくのは無理があるかもしれないが、小さなことでも平和につながる

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

心がけをしていきたい。活動力をしていきたい。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、話を聞いただけで、そうどうする事しか出来ませんが、それでも身ぶるいする程でした。

きくと、実際にその場にいた方々は私なんかのそうどうより、もっとおそろしく、辛い思いをされたのだと思います。それでも人は、良くも悪くも忘れる生き物

で、体験した思い、聞いた時の思いは風化して

いつてしまいます。忘れるから前を向いて生きれるのかも

知りません、そうだとしたも、もう二度と同じあやまちを

犯さない為には、辛い、苦い出来事こそ、忘れては

ならないのだと思います。戦争を経験していない

私達世代に出来る事は、色々な立場の人から話を

聞き、自分で考え、心に止める事だと思います。

全てをうのみにせず、自分が考え、忘れず、次へ

伝えて行く事、これが、私達に出来るようになった方への

とむらいだと思います。

これからの世界の動きを自分の目で見て、責任を

持って判断出来るように努力して行きたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで何度も原爆については学んでいますが、  
やはり最後のビデオで実際に被爆した方の肉  
声を聞くと生々しく感じました。今までは実際  
に被爆された市民のお話だったので、軍の立場か  
らのお話は新鮮に感じました。また、お話を  
聞いてあらためて原爆の威力のおそろしさを  
感じました。ついついこういう話は痛ましくて  
目をそむけたくなってしまうのですが、原爆ドーム  
に行った時は、目をそらすのがしっかり受け止め、  
そして後世に伝えていく手助けが出来れば良  
いと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先生の講話で、生々しい当時の様子から「広島市が」  
 知られませんが、被爆者の方たちの焼け付けた一本区何  
 度も頭の中を徘徊し、その状況を引き起こしている事  
 が、たった21のボツル17分たつていっせに驚きを隠し  
 せません。とろとろとムカが「1人が」落ちていく様子は  
 死んで私には1分から1秒と思いますが、今の日本で生きる  
 私にとって、食生活が、眠る場所が、平穏に  
 毎日をおくる中では、と分らないことだらけで、  
 幸せの中にある生活なんだと、実感しました。

17~18の若い女性から「痛みに苦しい涙も流さず」生きて  
 きた強さは、おいと思いますが、自分と同じ年くらいの人  
 たちが「生きる」と死ぬと、幸せとは何かを考えると、厳しい戦争  
 の中でのことは「憶え」がなければいけません。と、思いますが  
 5月には広島に実際に行き、自分の目で見て、  
 見ると、おからの人たちに伝えるため、たくさんを学ば  
 ないと。

池田さんのお話から「涙を流したことを、お話をうけとりにして  
 とい、思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3 / 14

社会科の授業はじめて原爆に学ぶことがあった。これはくわしく

学びたいと思った。そしておどろくことがあった。

池田義三先生の体験のお話を通じて原爆という物に対して初めて

"怖い、おどろしい"という思いが強くなった。

人間が一瞬には消えたり、消えた瞬間に原爆。1kgで広島

町が一瞬には灰塵に変わるといふことは本当にびっくりした。

ヒロシマやナガサキは47という巨大な爆弾で1kgで広島

長崎をむすんでおきたこと、又、実験的に原爆と重量比を

とりにくくして"パイロキニ爆弾"をいろいろ都市におとすという

原爆の候補地は6つあり横浜や京都もはいていたということ、おどろ

おどろきがあった。

義三先生の話しは表現の仕方、原爆先生の言いかたで本当に今

自分の心にはいりかたに感じることが多い。そして、うしろ、いたんた、今現代の

技術でも200倍、1000倍のものができるといふことは怖く感じた。

修学旅行で広島に行く時には見たことでも変わると思うし、

自分の心にはいりかたに授業があったと思う。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は小学生のとき、広島県に行き原爆資料館を訪れたことがありまあ授業内でも小学校や高校で習いましたが、それを教える教師は実体験をした人ではもちろんはいし、教科書どおりにしか教えることができませんからいまいちしっくりこないというか、ピンときていませんでした。しかしながら今日、原爆先生のお父さんの実体験を語り聞かせてもらい、妙にリアルな様子、他人事ではないような、そんな気がしました。ろうと和を見た小学生の私は「確かにただこれいるけど、よく見たらかわいい！」と不謹慎にもそう考え、悲愴さを感じていませんでした。

今日の日本に「原爆についてどう思うか？」と問いかけたら多くの人が顔をこわばらせて「こわいものだ、二度と使ってはほらない」と答えるかと思いきやそれはそうだが、今の私は同じことを答えたとしても胸の内だけかけたいとそう答えていると思うのである。

人間の、人間ではないような姿。経験していない私には想像の限界というものがあるが、鳥肌がとまらませんでした。今と生きる私たちを見て、当時の土佐の方と、援助した兵の方とはどう思うのでしょうか？平和ボケした現代人が「戦争は良しだい」と唱えていることを...

過去から目を背けが、見つめ直して自らに芽生えたもの(恐怖、人間の過ち)を大切にしたいからと生き、過去の人が見て取れなかった人に好りたいというのまた、原子爆弾ほど所持するのはおかしいと世界にわか

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)  
 もらいたいと見たい  
 切実に



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話をきいてから、短い動画を見た。そのビデオで原爆が爆発して広がっていく様子をみた。とてつもなく速いスピードで広がっていき、みるみるうちに広島が都市がボロボロになり、一瞬の熱線、衝撃波で人も建物も炭のようになり、ひびいんではあとかたもなくなってしまうのだ」ということが、こういうことなのかと分かった。原爆先生のお父さんが実際に救助している時のことを細かい描写とともに話して下さった。その話はとても生々しく、きくのも苦しくつらかった。

私たちのように実際に原爆を体験していない人々には、本当の恐ろしさ痛みはきっと一生理解することはできないと思う。でも、今回のように実体験をきいて、それを学び、少しでも理解し、いろいろな人に伝えていき、恐ろしさを共有できたらいいと思う。現在の時代はもう関係ないわけではないことも知った。昔の原爆よりもはるかに規模の大きなものが今の世に今は存在しているということも知っておかなければならないことだ」と思った。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

3 / 14

私は、原爆の実態を知っていたつもりでした。

熱すぎて皮膚がただれ落ちたり、焼けじをすぎて七くたつてしまうほど

だと思っていました。でもそんな簡単なことではなく、熱だけでなく爆風が

すくって飛んで行ってしまうというのを聞いてびっくりしました。

しかも熱は、太陽よりも熱いなんて、人の命がどれほど一瞬で奪われて

しまったのか、思い知る事ができました。

生きていく上で困難なことはたくさんあります。でも困難があっても

喜びや楽しめがあります。私は今、色々なことを感じながら生きています。

時に、面倒くさいと嫌になることもあります。でも年々そう思えて、生きてい

ただで幸せなのだと改めて考える事ができました。

原爆の被害者の方たちは、被害に合うまでは、今の私と同じように

喜怒哀楽を感じながら生活していたと思います。生きていくことは難しいです。

でも命を奪うことは簡単にできてしまいます。もし長崎でなく小倉に

原爆が投下されていたら、長崎の人は命が奪われることより喜怒哀楽を

感じながら今でも幸せに生きていたはずなんです。その反対に今幸せに生きている小倉の

人が命を一瞬で奪われていたのかもしれません。そう思うと本当に怖いです。

もし今、原爆を横浜に投下されたら、間違っても私は死にます。

苦痛の可なり死ぬかもしませんし、即死なのかもしれません。だから私は、

いつ死んでしまうかわからないので、今を大切に、一瞬を大切に生きていきたいと思っています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争のおそろしさを知った。原子爆弾の威力は町を焼くだけでなく一瞬にして人の命までも奪っていくと改めて知った。

空襲にあったことのない日本はそれに対応することもできずやられるが手遅れだめだば、と聞いていた。原子爆弾に含まれるウラン 60kgのうち約1kgの核分裂連鎖反応の勢によるなんでも昔の技術が発達していたらもう日本はどうなっていたのか。

熱線や衝撃波の威力でビルなどは壊れて人が一瞬で光と水蒸気となって内臓の水が蒸発して、炭化してその人の皮膚が焦げた状態になるなんて今では考えられないことだと思っただ。

地上から600mの高さに3000°Cの球体があるなんて考えられない。熱いボールだ。

広島市内の人が死にました命を落とされた。この先もあつと伝えたいと書いておいた。

普段は自らこのようなことは調べないが今日の講義を聞いて重く心に響いた、とても良い体験だった。

修学旅行へ行ったら今日の話を聞いて考えながら行きたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島、長崎での原爆投下について、授業やニュース、  
祖父母から話を聞いたりなどして、少しは知っていましたが、  
今日原爆先生の授業を聞いて、知らないことが多く、大変  
勉強になりました。原子爆弾の仕組みや、原子爆弾投下  
都市の条件など、非常に興味深かったです。長崎に原子  
爆弾が投下されたのは様々な偶然が重なってしまったからで、  
もしあの時、雲のすき間から地上が見えていなかったら長崎に  
原子爆弾は投下されていなかったのかもしれないと思います。また、  
原子爆弾が7000℃もあると知り、驚きました。太陽の表面  
温度が6000℃に対し、7000℃の物体が上空600mの場所  
にあると考えるだけで恐ろしくなります。私は、原爆ドームを実際に  
見に行ったことがあります。原爆ドームや当時の写真を見て、  
被害者の方のことを思うと本当に胸が痛くなります。二度と、  
同いようなことが起こらない世の中になるよう願います。

とても貴重な経験になりました。



名前は裏面に記入してください

じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の特別授業を受講して広島は自分か思っていたよりも悲惨だったことを実感させられました。私は5年ほど前に原爆ドームと資料館に行ったことがありお話しにできた人形も直に見、広島であったことについて知っていると思っていました。しかし、実際にお話を聞くと私が知っていると思っていたものは体験した人からするとつくり物で、体験してもいないのに知っていると思っていた自分が恥ずかしく思えました。昔、被爆した人々をあらわした人形をみて、こんなにひどく皮がめくれて痛そうと他人事のように思っていました。しかし、やけどや被爆者のお話を今日聞き、他人のことか思っていた8月6日の広島が急に現実味をおび、自分が関わったわけでもないけれど何故か他人事に思えないと感じました。そして、人形と実際に体験した人の話を比べ、池田義三さんの言った「きれいすぎる」という言葉に重みを感じました。

今、アメリカなどたくさんの国が広島でつかわれた1000/倍の核爆弾を所有していると聞きました。これから一度もそれが使われないよう願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私の周りに広島出身の人はいません。出来事は知、  
ていても、実際どういうものだったのか、細かいことま  
で知る機会はありませんでした。しかし、今日  
先生のお話を聞いて、爆心地に近い所で、階段に  
座っていた人が炭になった影のみを残し、一瞬にして消  
えた、という話を聞いて、その人は何気なく過ぎていた  
日常を、核爆弾の投下により失い、何が起きたのかも、  
何も知らぬまま、この世を去り、また、沢山の人々の幸  
せや、日常、愛する人を奪い、絶望を残しました。先生のお  
父さんのように、その惨劇を目にし、辛い思いをする人、  
核爆弾は本当に、もう二度と使ってはならないと思いま  
す。そして、原爆投下から45年が経ち、被爆体験  
した方々の数は年々減り、過去の自分には関係無  
い事だと思っている人や、私のように細かいことまで知  
る機会の無い人も沢山いると思います。けれど、北朝  
鮮が核実験を行なっている事、沢山の国が核を持って  
いる事や、技術が進歩し、もっと勢力の強い核爆弾  
が作られているという事を考えると、私たちに全く関係  
ない訳ではない事を心に留め、理解を深める事が重

要になってくると思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、たくさんのお話を聞いて、私は、想像するだけでとても怖かった。  
2番目の候補地は、小倉だったのに、長崎に変わったという話をきいて、  
天候などの条件で何万人ものおの運命が変わったと思うと、私  
たちが今生きているのは、本当にあたり前のことではないと感じた。  
また、候補になった都市に横浜が入っていたのは、とても驚いた  
し、もし横浜に落とされていたら、さ、この捜真もなかったと思うので  
そう考えると他人事ではないし、体当に恐しいと感じた。池田義三さんの  
ビデオを見て、義三さんは、原爆ドームに行った時、何も感じなかった、  
こんな生ぬるいものじゃないと言っていたのかととても印象的だった。私は、  
あの人形がとてつもない衝撃的でショックを受けたが、これ以上にひどいもの  
だと思ってしまうほど、経験された方ははっらかったと思うし、  
私たちは何も言うことができないと思ひ、とても心が痛くなった。  
このお話を通して、戦争は本当にやめてはいけないことだし、これから  
も、永久に行われてはいけないと思った。私たちは、戦争を経験した  
方からお話が聞ける最後の世代なので、私たちもしっかり次の世代へ  
つなげていかなくてはならないと改めて感じた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

もしも自分の愛する人々や自分がこのような体験をしたら、と想像を  
しただけで身の張り裂けそうな悲しみとやるせなさ、やり場のない  
怒りに押し潰されそうになりました。

何度か今までもこのような広島長崎のお話を受けてきましたか。  
今回、原爆の詳しいメカニズムやそれによる被害やその様子を  
生々しく実感させられ、より一層原爆の恐ろしさを知ることが  
できました。

お話の終盤に先生もおっしゃっておいりましたか、今ではかつて  
著しかった原爆をもはるかに超える威力を持つ兵器の製造が  
可能になりました。またまだ各国はどのような兵器を所持し蓄けて  
います。今はまだ恐らく全世界が兵器を捨て平和になるという  
ことはないと思います。だから今私達に出来る事は、世界の状況を  
知り、妥協と許しあいの努力をし、兵器を使う必要のない  
関係を築いていかななくてはならないのだという認識を  
各々が持つという事ではないか、と今回の授業を受けて  
考えさせられました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

原爆先生の特別授業を受講して、私は  
原爆に対する意識が変わりました。

何回か原爆の話はテレビや新聞で見ましたが、  
特別授業は戦争に行った兵士の方の体験を元に  
作られた本を用いていたためかとても、心が痛くなる内容で  
当時、被爆された方にしか分からない事や、景色なども  
イメージしやすく、その悲痛さが伝わりました。  
自分たちは戦争を経験していません。

しかし、こうやって原爆先生の特別授業を受講した経験は  
ありません。この場で聞いた話を自分たちが大人に  
なった時に子供たちに伝え、受け継いでもらう事が  
戦争を経験していない私たちに出来る事ではないかと  
思っています。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

前に授業で「黒雨」という本をやったり、

テレビやインターネット、本などで原爆の事は聞いたりしてた

けど、今日特別授業を受講して、実際は広島に居て、

救世村での体験談を聞いたのは初めてだった。

又、原爆投下の候補になった都市で京都が一番の候補だった

の、昔の伝統などで選ばれたという事に疑問だった。

特別授業の資料の7000人の少女が少年は11歳未満で

7000人は合計15歳未満の子供だった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

改めて原爆の悲惨さを感じることが出来ました。  
3分間のビデオでも一瞬で人が消えて灰になって  
しまったえいそうもあり、かなりびっくりしました。全身と肌  
が立ってしまうほど凄かたです。本当に原爆の力があつ  
しすぎて言葉も出ませんでした。講師の先生が一生  
懸命に細かく今日原爆について教えて下さった  
おかげで、自分の知らなかつたことを知ることが出来まし  
知っていたことにもより深める事が出来たと思います。  
原爆のひがいに、より体中がやけどまみれて赤くはれ  
痛さの最上級をこえたような姿の女の人の人形を見たとき  
ひがいがはかれ落ちていて手を前にしている感じは本当  
にぞくぞくと見ていて痛々しく思いました。昔にこういう原爆  
が落ち、沢山の人の命がうばわれたと思うと  
心が苦しいです。今このように幸せ毎日生活を送れている  
ことに改めて感謝します。二度とこのような原爆による  
ひがいで、死ぬ人がいなくなるに毎日願うばかりです。  
本当に原爆について教えてもらい、考える場が与えられ  
て本当に良かったです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/14

原爆の名前や重さなどの知らなかったことが出てきました。  
「7000℃の少年」というのは原爆のことを指しているのだと  
分かりました。祖父が当時長崎にいた(被爆はしていない  
のですが)のでそういったことも想像しました。  
また、放物線を描いて落下するのにも驚きました。  
候補になった都市も京都は文化財があることや日本人の  
感情のためはずされたと聞きました。ですがどこも場所  
もそこに住んでいる人からしたら大切な故郷です。  
どこであっても許されることではないと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を受けて、改めて戦争の恐ろしさを感じることができました。私は、たった1kgのウランという物質が核分裂して、広島に2人に2人の人を亡くならせよう力を持っているのだということにもおどろきました。そして、最後に見せていただいた先生のお父さんが語っている動画では、先生のお父さんが戦争を思い出して泣き止んでしまっていたことから、本当に戦争が恐ろしいものであったということもさらに感じました。私達は、戦争を体験しておらず、他人事ととらえてしまいがちですが、70年前に日本で起きた、そんなに遠い昔の出来事ではないのだ、ということを感じずに、しっかりとこれから生まれてくる子供達にも語りついでいかなければならないと強く思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、原爆というものがどれほどむごい結果を残したのか、知ることが出来たのは本当に良い機会でした。

きっと、原爆の本当の恐ろしさというのは体験した人しかわかりません。原爆資料館を訪れた池田義三さんの「うつくしきさ。」という言葉には、もっと悲惨で絶望的な状況であったのだということが良く分かります。その全ては、思い出したくなくても忘れられず、声に出して言葉にするのもつらく、それでもこの原爆について若い世代にも伝えたいからとなくはいけなさいという強い思いがビデオから感じられました。その思いをしっかりと受け継がなくては、私たちの世代で終わりにしてはいけなさい、と私は思いました。私が修学旅行で広島を訪れた時、原爆ドームを見て、資料館を見て何を思うか、それは今は分かりません。けれど、あんなやかな霧田気に包まれた広島が、あの日には想像を絶するものであったとは考えられたいと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、お話しありがとうございました。私自身原爆というものを経験したことがなく、くわしく知らなかったのですが、今回話をきいて、知れてよかったです。

原爆は、本当に一瞬にして全てを変えてしまうとしても、おそろしいものだとすることに改めてきづかされました。一瞬にして炭化し、衝撃波によてくだかれてしまうもの。座、て場所が黒い跡として残っているが消えてしまったもの。本当に普通な生活をしてただけなのに、死亡率40%と、たくさんの方が命を落としていました。本当におそろしいです。また、池田義三さんのように死体を燃やしたりする人も本当にかわいそうでした。何も罪がないのに、焼かれ、苦しみ、痛みにあえながら、死んでいってしまった人達を燃やすのは、本当につらかったと思います。もし、自分が同じ立場だったらと考えると怖くてできません。しかも原爆落とす基準が雲があまりかたななんて、ひどい話だと思います。

今度実際に広島に行きますが、こんなに、みさんなことがあったんだということをおぼろげにしたいなと思いました。

今回は、お話し<sup>戦争について</sup>考えたせる時間を下さってありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私の親族には、東京大空襲などの体験はあるものの、原爆の体験がある人はいません。テレビや新聞などで特集として取り上げられても、いまいち伝わってきいていませんでした。今回、初めて直接原爆について聞くことが出来て、また、非常に生々しいもので、涙が出さそうになりました。皮膚がむけている、全身やけどで、人間とは思えない、など。私は、そのような人を見たことがないので、想像しましたが、見たいと思えないようなものでした。あらためて、原爆の悲惨さ、今では考えられない、広島と長崎の残酷な姿を知ることが出来ました。

昨年は戦後70年でした。今、生きている人の大半が戦争の時代を知りません。もちろん、私もその一人です。多分原爆先生もその一人です。数少ない戦争体験者から聞くことは、とても大切なし、また、後世に伝えていくこともとても大切なことだと思います。

イスラム国のテロや日本の安保法案など、戦争に繋がる事柄が今沢山あります。二度と、悲惨な、残酷な戦争が起きぬよう、一つ一つを慎重に解決するべきだと思います。

今回、原爆先生に聞いたことを、私も後世に伝えていきたいと思えます。とても貴重な体験をさせていただきました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日のお話で一番印象に残ったことは、池田義三さんが帰る途中に出会った姉弟の話です。その後の手紙もきいて、姉のためを思った弟、そして、その弟はもう七くな、という事にとっても複雑な思いを抱きました。きっと、姉を助けたいという必死の思いで義三さん方に助けを求め、とにかく助けたいという一心だったのだと思います。けれど、その時助けを求めた弟はもういない... そんな気持ちがある中で生きている姉はとっても辛いものだと思います。

私は原爆を体験していません。なので、投下された時や後のひどさの程度は、きりと言、想像もつきません。ただ、漠然と原爆はすごく悲惨なものだったと聞かされるばかりです。けれど、今日のお話は今まで伺ってきた話とは少し違いました。原子爆弾とはどのようなものなのかを少し詳しく知ることで、その威力がすさまじく強いものだということを知ることができたと思います。本や授業で、原爆の被害のひどさはよく伝えられますが、意外にも原子爆弾本体についてを知らないのだと気づかされました。義三さんの体験談を通じ、また異なる方面から原爆について考えることができたと思います。今回は、爆弾を落としたアメリカの飛行機の乗員からの目線でもあったと思います。原爆について、もっと深く知るためには、日本国内のことだけでなく、海外から見るとどうだったのかも知っていく必要があると思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まず、原爆候補地は第1が広島、第2が小倉、第3が長崎、  
 そして横浜、新潟、京都とTくさんの候補があり、おは原爆がとて  
 綿密に計画的に落とされたことに驚きました。今まで私は原爆は  
 Tは落とすとしていたというイメージしかありませんでした。それに、長崎  
 に落とされた8/9は第1候補が小倉、第2候補が長崎であり、  
 いくつかの偶然が重なり、原爆が投下され、多くの方が亡くなったと思  
 うとバツ痛めます。池田先生によると、落とされた原爆の表面温度  
 は7000℃、中心は100万℃であり、あの太陽でも表面温度は6000℃  
 ということで、どれだけの威かということがわかります。私の上は、  
 太陽以上に熱い原爆が600m上にあると考えるTはでぞ、とします。  
 また、池田先生は広島に落とされた原爆の材料であるウランは60kg中  
 1kgしか爆発しなかったとおっしゃっていました。もしも、60kg全てが爆発し  
 たら、広島がどうなっていたかと思うと身の毛も立つ思いです。また、  
 今の世界には、広島に落とされた原爆の14倍をも遙かに超える  
 爆弾をTくさんの国が保有しているそうです。本当に恐ろしく思います。  
 池田先生のお父さんのビデオ、手紙も戦争の悲惨さを伝えてくれました。  
 私は体験者ではないので、どんなに恐ろしい事がわかりませんが、それでも  
 とて恐ろしく、残酷だと二度とこのような事が起らないよう、多くの人に  
 戦争の残酷さを知ってもらう事が大切だと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

名前は裏面に記入してください

今日は、普段はかたよか聞くことができない貴重なお話を聞いて、多くのことを学びました。「原爆」という言葉はよく耳にしますが、原料がゴルフボール1個分の重さであったとか、温度は太陽と同じくらい高かったという詳しい話は初めて知りました。そのこと、それを知ったことにより、原爆投下時の様子がさらにはっきりと頭に思い浮かびました。また、原爆が広島と長崎に投下されたのは偶然であり、もしかしら私が住む横浜であったかもしれないと聞いた時は、驚きました。しかし、どこにいてもその功利物は投下してはいけないうし、存在すること自体がおかしいと思います。原爆を投下する計画を立てた人、それを止めなかった人、それを実行した人、すべての人に責任はあります。そして、今生きている私たちにも、それを知り、将来に伝えていく責任があるのだと思います。今日のお話を活かして、自分で考え、行動したいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生のお話は最初の始まりから異様な空気の中で始まりました。風の音や爆発音なども先生が工夫して表わしていただき、雰囲気に入り込みました。

広島の被爆について兵隊側の人の体験談を聞くのは初めてでした。夏休みに見に行った映画は広島に住む人の視点だったのが今回はまた違ったお話を聞けてよかったです。お話は簡単にひどい、かわいそう、痛々しいとは言ってはいけなそうと思うほど、想像以上につらいものでした。

私は何回も原爆資料館に行っていてあの人形を見ることがあります。最初見た時は見るとは言えなそうものをみてしまったと思うほど生々しくひどいものでした。でも、お話を綺麗だと聞いたのを聞いてそれ以上は想像しなそうと思ってしまう。

今回の授業を受けて戦争は二度と起してはななうと強い気持ちが生えなました。二十から年が経て戦争を知らなう人びとが増えなう中二うやうやう戦争の話をしてなう人を減らなうと思います。その中で未来の子供たちに伝えていけなうのは何回でも二うやうやう講習を受けてきた私二うです。戦争のつらさ、悲しさ、ひどさを忘らなうに未来に残してなうたいと思なうます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

今日の話を聞いてとても原爆がひどい出来事だったのだとわかり

驚きました。原爆についての話や出来事については聞いたことがあった

けれど、実際に体験をした方の話や体験談を間近で聞くし、

テレビなどで放送している内容よりもはるかに重く辛いことなのだ」と実感

することができても大切なことを学ぶことができました。

原爆の被害の大きさや、仕組みを聞きとても心が痛みました。実験や観察の

ために人々を使うということがとてもひどいと思いました。いつもとかわりなく

日々を過ごしていたら一瞬のうちにそれが失われてしまう原爆がどれほど怖いもの

であるのかということが痛いほど伝わってきました。私たちは、実際に被爆した

ことはありませんが、もし自分や家族、友達、周りの人たちが被爆したりしていたと

思うとしてもやむを得ない気持ちになり、原爆というものは本当に本当に嫌なもの

であることがあらためてわかります。また、これをふまると被爆してしまった方々に

もし会ったならば私はかける言葉が見つからないと思います。

今の私たちはこのように原爆についての話を実際に聞いたりできるが、

私たちよりも後の世代は原爆を知らず話を聞く機会も少ないと思うので

これからの日本や世界の平和のためにも原爆について伝えていくことを第一に考え

ていきたいと思いました。この目的のために多くの学校をまわり、伝えて下さる

方々がいるのほとても素晴らしいことだと思ひ、感謝の気持ちと尊敬する

思いがあふれました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

“原爆の投下は悲惨なものだった”という知識だけは持っていたが、その考えは生ぬるいことだ”という事を痛感した。お話の途中で、階段に座っていた男性が原爆の投下により、体の水分が蒸発し炭化した体が衝撃波で一瞬で散り階段に影のようなものが残った”ということを知った。その時、お話を悲惨なお話だったことで少し考えを明るい方に転換したのか、一瞬ではあったが又、と光の中は消えていく天使のような美しい情景を想像していった。それにより、自分とは比べものにならない過酷な体験をした当時の兵隊さんにも、現実から目をそらしてこぼすことは多々あったのだらうと考えさせられた。しかし、懸命に指令を全うし、現在の平和ぼけしている私達に当時の体験をした兵隊さんの言葉を用いて伝えて下さったことに感謝している。また、現代の戦争を知らない若い世代の人は、もっと積極的に教科書に載っている文字の羅列を眺めるのではなく、実際の体験をした方のお話を直接伺うべきだ”と思った。

お話をとても貴重なお話、本当にありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業をうけて、

原爆の恐ろしさを、生々しい写真やお話を通し  
感じる事ができました。

秋、原爆が落とされた場所は、左島「長崎」で  
あったが、自分が今住んでいる「横浜」にも落とされていた可能性  
があった江を開きおぼろきました。

左、左島に存在する「原爆ドーム」は、

原爆の脅威を表している大切な建物であるから、

修学旅行に行った時は、当時の人の気持ちを

少しでも考えながら、目に焼きつきたいと思っております。

これから先で、また同じことを起こさないために、

私たち若者が、この経験を語り継ぎたいと決意を込めて

心に刻みたいと思っております。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私はこれまで原爆のこと一切関わりをもたない生活をしてきました。そのため、広島や長崎で70年前に原爆を落とされたという事実を知っていても、ただそれを知っているというだけで他には何も思いませんでした。私が小学生のとき、同じように体験者の方にお話を伺う機会があっても、ただ、ただひたすらに「かわいそうだ」というようにしか思うことができませんでした。

しかし、今回の授業で「実際はこんな生やさしいものではない」という言葉を聞いた時、なんともいえない感情を持ちました。私達は戦争というものを知りません。ただ、その事実は、口から伝えられたとしても、本当にその場に行かなくてはないうえ、全てを分かること、知ることはできません。そのことがこの一文で思い知らされました。私達はどんどん戦争のひどさを知らない世代になっていきます。そのなかでも私達ができることは何なのかを考えさせられる時間になりました。全てを知ることができなくても、亡くなった方々、苦しみ、悲しんだ方々の思いだけは、長い月日が経っても忘れ去られることがないように私達の心で、今日伺ったお話が残ればよいなと思いました。そして、もう二度とこのようなことが起こらないように、私達は考えなければならぬと思いました。

この機会を無駄にしないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は裏面に記入してください

今更<sup>に</sup>広島<sup>の</sup>原爆<sup>に</sup>ついて深く<sup>に</sup>知れた<sup>こと</sup>がなかつた<sup>ので</sup>今日<sup>も</sup>お話を聞けて<sup>良い</sup>経験<sup>にな</sup>った<sup>と思</sup>います。歴史<sup>の</sup>授業<sup>など</sup>で<sup>して</sup>話を聞いた<sup>こと</sup>はありましたが、実際<sup>に</sup>体験<sup>した</sup>事を深く<sup>に</sup>知れた。原子<sup>爆</sup>弾<sup>の</sup>熱<sup>さが</sup>太陽<sup>の</sup>表面<sup>温度</sup>よりも高い<sup>という</sup>ことを知り、驚<sup>か</sup>しました。また、人間<sup>が</sup>そんな<sup>熱</sup>い場所<sup>に</sup>いると一瞬<sup>に</sup>消え<sup>て</sup>しまい、炭<sup>にな</sup>ってバラバラ<sup>になる</sup>という<sup>実際</sup>のお話を聞いたり、映像<sup>を見</sup>て、私が<sup>想像</sup>より<sup>ずっと</sup>怖<sup>い</sup>、恐<sup>い</sup>な<sup>こと</sup>を感じ<sup>ました</sup>。資料館<sup>で</sup>原爆<sup>に</sup>やけど<sup>をお</sup>った<sup>手</sup>の皮膚<sup>が</sup>はが<sup>れ</sup>ている人形<sup>を見</sup>て先生<sup>のお</sup>父<sup>さん</sup>が「キレイ<sup>すぎる</sup>」と言<sup>った</sup>事も印象<sup>に残</sup>りました。私は<sup>その</sup>時の臭<sup>いや</sup>、触<sup>った</sup>時の感<sup>覚</sup>を感じ<sup>る</sup>ことは<sup>でき</sup>ません。でも今日<sup>、</sup>実際<sup>の</sup>体験<sup>を</sup>聞く<sup>こと</sup>が<sup>とても</sup>良かった<sup>ので</sup>。広島<sup>島</sup>・長山<sup>崎</sup>に原子<sup>爆</sup>弾<sup>が</sup>落<sup>ち</sup>た<sup>とき</sup>、七<sup>く</sup>お<sup>た</sup>た<sup>い</sup>た<sup>人</sup>や、惨<sup>状</sup>に苦<sup>んで</sup>いる<sup>人</sup>の事<sup>を</sup>、<sup>ご</sup>い<sup>ま</sup>せ<sup>ん</sup>。それ<sup>で</sup>、今日<sup>教</sup>え<sup>て</sup>もら<sup>った</sup>ことを、<sup>忘れ</sup>ず、修学<sup>旅行</sup>で<sup>実際</sup>に見<sup>て</sup>感じ<sup>て</sup>くれた<sup>ら</sup>良い<sup>です</sup>。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

3/14

原子爆弾についてのお話を伺う機会は今なかなか持つことが  
難しいので、本当に貴重な時間でした。お話の一言一言が本当に  
現実で起きたことなのだと思うと、背筋の凍るような思いがしました。  
人が人でないかのような形になってしまう、あるいは、直下の爆風によ  
って一瞬にしてあとかたもなく消えてしまう、と聞き、恐ろしく、  
涙が溢れてきました。自分の生きてきた痕跡も全て吹き飛ば  
されてしまうということは今の私たちには考えられないことだ  
からです。本当に残酷で、今お話を聞いている私たちでさえ、目を  
背けたくなるような状況を目の前にされた先生のお父様のお話も  
とても印象的でした。胸の詰まる思いと共に、次の世代である私  
たちが、このことをきちんと知り、忘れずに伝えていかなければなら  
ない、と背筋がずらりと伸びる思いでした。

現代において、リトルボーイの1000倍の威力を持つ核兵器を世界の多く  
の国が保有していると伺います。もし、今戦争が起きるとしたら、  
広島・長崎の原爆の被害を遥かに超える戦争になってしまうの  
だと思っています。私たちに対して涙を浮かべながらも原爆の  
悲惨さを伝えてくださる方がいらっしゃるのに、そのようなことがあつては  
ならないと思います。広島に行き、自分の目で見え、聞いて、感じる。  
原爆について、広島や長崎で起こったことについて考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

こんなに詳しく当時の広島や長崎のことを知りません。

それがいかに悲惨で苦しかったか。原爆が落とされる映像や女性  
がやけどを全身している模型を見ると鳥肌がたっしまい見えない  
かもしれません。ゴルフボール1個分で広島や長崎のちよこは2人の人々  
が亡くなりたくさんの人の人生を狂わせてしまったのです。

私が生きている現在、日本はたくさんの食べ物や食べ物、キレイな衣服  
があり大切な家族がそばにいます。

なのに私たちはご飯や衣服を簡単に捨ててしまったり、家族を  
大切にせず最悪の場合殺してしまう人がいるのが現状です。

広島や長崎であんな悲惨なことが起きると平和になったと思っても  
やはり他の国では戦争が起きているのです。

それに現在世界では1945年のときの原爆とは違いおよそ1000倍の  
威力がある原子爆弾が作りだされているのです。

こんなのでは世界が"平和"になれるのでしょうか。

広島や長崎の方々の尊い命が意味もなく失われてしまったことを  
私たちは絶対に絶対に忘れるべきではありません。

どうか世界が平和になることを祈りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

先生のお話を伺って、自分が思っていた以上に原爆は恐ろしいもの  
なのだといいことを知りました。

被爆によって人とは思えない姿に変わってしまっていることを  
知って、本当に怖いものなのだといい実感を感じました。

お話の最後の方でビデオを見て、実際に原爆を体験した  
方の体験談や話を聞いても、資料館を見学しても、本当の  
怖さを知ることはできないとおっしゃっていて、自分で知った  
つもりになっても本当はそれとは比べものにならない  
ほどの怖い経験をさせているのだといいことがすごく  
よく伝わってきました。

それなのに世界では、その日本に落とされた何千倍もの  
威力の核兵器が作り出されているという現状を知って  
悲しく思いました。

今日、お話を伺って原爆の恐ろしさを知ることができたので  
広島に行って、資料館などを見学する時に、その本当にあった  
悲惨な事に目を背けないでしっかりと向き合いたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今年は戦後70周年ということで「夏休みの特番など」と  
 見たことがあったが、今日実際に聞いて恐怖という  
 言葉が思い浮かびました。先生の何ともその場の状況を  
 作り出す語術でとても想像できました。皮膚がはが  
 れ肉が見えしほりというのはとてもリアルでした。  
 また、最後にお話しされた1kgのウランで「何十万人もの  
 命を奪うことができる」ということとても怖い。またさらに  
 怖いのが今の技術では60kgのウランを核分裂させる  
 ことができ、その核を世界中の国々が保有している  
 ということ。つまりこの世界のどこかへ原爆爆弾が  
 おとすおとすもおかしくないということ。とても怖い  
 世界だとも思います。もう二度とこのお話を起こさな  
 いといけないと思う。被爆者の平均年齢が86歳  
 を超えたことを知り、私たちの世代が次の世代に  
 伝える責任をしなければならぬと思う。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、初めて原爆についてのお話しを聞き、どれだけ悲惨で、  
どれだけ大きなことが起こったのかが分かりました。

私は今日まで、原爆が落とされたという実際に起こり、形と  
して残っているものごとしか知りませんでした。どのような  
経緯で起こったできごとなのかということに今までほとんど

興味もなく「原爆が投下され、99人の犠牲者が出た。そして  
今でも苦しんでいる方がいらっしゃる。」ということが私の情報の  
すべてでした。だから、初めて聞くことばかりでした。初め  
から広島・長崎と決まっていたわけではなかったことも同じ  
原爆ではなかったことも知りました。また、それほど大きなできごと  
だったとは分かっていても、想像以上でした。今、もし7000℃の

太陽よりも熱い原爆が落ちてきたとしたら。と考えると  
本当に恐ろしいです。しかし、私たちに実際に体験をして  
いません。また、したくありません。だから、唯一被害にあつた

日本人の一人として知っておかなくてはいけないに二度と  
このようなことを起こさないためにも知る必要があると思います。

今回のお話はそのきっかけになりました。まだまだ知らないこと  
がたくさんあるので、99人のことを学び、二度とこのような

ことが起こらないようにしなければいけないと感じました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の事はテレビや本など以前にも見た事があつたけれど、これは知っていました。でもそれは日時や場所などの代表的な事だけ。原爆ドームにも行った事がないで、実際の被害の様子などはあまり知りませんでした。今日の原爆先生の話を聞いて、自分の想像していたものとは次元の違うような被害があつた事を知りました。想像しただけ。自分の体が痛くなるような事は「かりで、原爆の本当の恐ろしさを全部くはないで」が知ることか「きつた」はたしかだと思います。原爆先生の話し方はすこりリアルでその世界に引き込まれていくようなお話でした。自分の周りには原爆の被害にあつた人はいないから、自分とはあまり関係のない話だと思つてたけれど、こんなにも恐ろしいことがこの日本で起つたんだと思うとも、原爆を知ることかと思つた。資料を便、このお話は、実感のわかないような数値ばかりで、その被害の大きさを想像しただけ。すこ怖かつた。それに、それと同時にこんなにも大きな被害を与えることか。原爆を人間が作つてしまふという事に驚きました。耳をそばめたくなるような内容もあつたけれど、こんなにも詳しく原爆を知ることかする機会はこの日本にはないと思うので、良かったと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆というものに関心がありませんでした。日本史の  
 授業でした。あります。というところ。私の原爆についての  
 知識は止まっています。今日、原爆先生の話を聞いて  
 驚くことばかりでした。原爆の威力が、恐ろしいからです。  
 ものすごいスピードで街をおとって、一瞬にして建物から  
 人、何から何までうばっていきまします。そして、原爆を  
 落とす都市に候補があった。よほど知りませんでした。  
 もしかしたら、今私が住んでいる横浜に原爆が落と  
 されていたら私の祖父母は今生きているのだろうかと思  
 われます。今日のお話を聞いていつでも平和とは限り  
 ないと思います。いつ、どこで戦争が起きても、ミサイル  
 落とされたりするかわかりません。今日がもしあれば明日  
 がもしあれば何十前後かわかりません。いつ命が失われ  
 てもおかしくないと思います。でも、今の世界は前よりもずっと  
 技術も進歩しています。もう二度とこのように苦しい  
 悲惨なことを起こさないようにしたいです。そして、原爆  
 をよく知らない人たちにもっとよく知ってもらいたいと思  
 います。私も今回をいい機会に、もっと日本の昔のことについて  
 触れてみたいと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

3/14

私は原爆先生のお話の中で「やけど」をした人々  
という言葉が何度か出てきて、とても印象に残りました。  
トラックに乗ろうとする、体全体に「やけど」を負った人の手や  
腕をつかみ引き上げようとする、ずる、と皮膚が  
おけてしまったという話は特に心に残りました。  
他にも、原爆が投下されると太陽と同じぐらいの  
温度になり、人が一瞬で黒い炭のようになってしまふ  
ということを知ったとき、想像ができないような  
熱さや、事案のお話にとっても驚きました。黒く炭  
になってしまった人の写真も見せていただきました  
が、ただ人型に黒く、本当に人間か二のようになって  
しまふのかと思うととても恐ろしかったです。  
そして、私は71年前はまだ生まれていなかった  
ですが、原爆先生のお話を聞いて、もう絶対に  
戦争はしてはいけないうし、したくない、起こら  
ないでほしいと思いました。  
これからも今の日本のように平和な日々が  
続いてほしいです。そして全世界がいつか平和に  
なる日が来てほしいと思います。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/14

日本史や世界史の授業で資料集や教科書にある写真を見え、勉強した事はあるけど、生の声を聞いたのは初めてだった。私は実際、体験をした訳ではないので、理解出来ない事もたくさんあり、とどいもしたが、もし私の学校や家友達が写真やお話の功になったら考えると、その後の人生を平気ですごす事は出来ないと思う。また、またその様な危険な武器を国が所持していると知ったら、いつか同じ事が繰り返されてしまうのではないかと考えしやうと思った。

原爆をおとしたパイロットは、空から人々の光を見え原爆をおとし、その後広がる熱線や衝撃波、空に広がっていく雲をどのようは感情で見えていたのだろうか。と思う。

修学旅行で原爆ドームを訪ねるが、目を背ける。また、現実にはもっと悲惨なものであったのだという事を頭に入れ見学しやうと思った。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生の話を聞いて、まず思ったことは知事の日には

このことを絶対に知らなければいけないのだと思います。

今の時点で、戦争を体験している人が減ってきて、いつかこれでも

しなくてはならない時もあるけれど、これをまずと知事には

これを次の世代、次の世代に伝えていかなければいけないのだと思います。

と思いました。

今、安倍政権は戦争に参加するかもしれない、かもしれない発言をして

いるが、二度と戦争はくりかえしてはいけないのだと思います。

今日池田先生の話を聞いて、このことを知らなければいけない

理由があるのだなと感じました。

今この可哀な平和の中にあることに感謝して

このことを知らなければ生きていけないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私の祖母の家は広島にあります。丁度、広島にはお正月に毎年行き、もちもん原爆ドームへも言われたことが何度もあります。ふかい頁、平和記念資料館へ行き、当時の様子の写真などを見たときに、あまりの恐ろしさに泣いてしまったのを今でも覚えています。私の広島の方の祖父は今はもういませんが、多くの被爆者の中の一人でもありました。そのように、私にとって、今日の特別授業は色々なことを知っているからこそ、考えさせられる部分も沢山ありました。お話を聞いているときも、ビデオを見ているときも、70年前にあの経馬灸をした人たちはと"れほど"苦くて、辛かったのだと思うと、胸が痛くなりました。私は、丁度、何もしてない人が、そのように苦しさが必要があったのかと思い、「戦争」という出来事の恐ろしさを改めて、実感し絶対に繰り返してはいけないものだと思いました。今日の特別授業は、70年前の私達が経馬灸してない出来事を具体的に、そして戦争の脅威を考えさせられたとても充実した時間でした。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

初めて知ったことも多々ありました。特に原爆雲のでき方だったり、爆弾に直で当たってしまった人々の死に方は、先生のお話しと写真、動画で、一番印象に残っています。

こんな死に方をしてしまった人々の中には、一瞬すぎた死んだかわかっていた人たちの魂があるかもしれないと思うと、かわいそうだと憐れみの気持ちでいっぱいになります。

熱で人体の水分子が一気に蒸発して炭化し、直後の衝撃波で、それも一瞬で吹き飛ばされてなくなる...

想像するだけでも怖くて字を書く手が震えます。本当にそんなことがあったんだと、原爆ドームが嫌ほど教えてくれます。当時の人々がドームの解体を願ったのもうなずけます。

でも、現におこったことは覚えておかなきゃいけないのだと、後の世代にも教えていかなきゃいけないことなのだ、この授業を聞いていて思いました。



じゆこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

想像していたよりも悲惨で、悲しみと共に少し怒りもおぼえるとも具体的な話でした。私たちが今日聞いた話は私たちが生まれるよりも前の話の2" 二んはに深く聞いたことがありませんでした。死者である14万トの人口のうち2万トの人口が一瞬に消えてしまったと原爆先生はおっしゃっていました。二んはたしさんの人の命が1つの物体に1瞬で集められる二んは想像も出来ません。先にも加え、先のとってしまった人口の家族が受けた悲しみ、苦しみ、怒りも今生きる私たちに想像もつかないと思います。以前私は祖母から原爆についての話を聞いたことがあります。祖母の姉は原爆でとってしまったとうです。私は「私たちが子供の頃、二んは事があったんだと。忘れたいけれど」として涙目になった祖母に言われました。祖母はもうとってしまったしおりましたが、私は原爆先生や祖母から聞いた貴重な話を忘れないでいたいです。二んはに深く心に刻まれる授業を受けられた二んは貴重な経験になりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/4

原爆のお話は、戦争や被爆に関連し、たまにテレビなどで放送されているのを見る事もあります。しかし、その残酷さやインパクトの強さによって、一回学習したり、少しテレビで放送されているのを見たりするだけで、恐怖や不安の為に、もう聞きたくない、見たくないと思う人も少なからずいるとは思いますが。当時の事を思い出しながらお話をくださる方は当時の苦しみを一緒に思い出してしまうし、聞く人は自らが体験した事のない出来事を想像し、不安を覚えます。このみをとり上げてしまうと、良い事はないような気さえしてしまいます。しかし、そのような思い出せば涙し、聞けば不安にかられるような出来事を二度と起こすわけにはいかないと思いますし、誰もが起こしたくないはずです。人は時間と共に忘れてしまう生物です。普段の生活をしていたって大切な事を忘れてしまうので体験した事のない事であればなおさらだと思います。なので私達は多少恐怖を覚えるても、学んでいかなければならないし原爆で亡くなった人々をともらなければいけないと思いました。今回の特別授業はそのような事を考えるきっかけになりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今までテレビなどでは原爆の話や特集を見たことはありましたが、今回初めて生の講演会を聞き、今まで一番原爆の恐ろしさが伝わってきました。原爆も落とすための練習を実際に日本が、しかもが普通に住んでいる所が何度もしていたということにはとても驚きました。投下する都市を選ぶ時、人間にとって重要な文化財が多数あるという理由や日本の感情も考慮したという話を聞いた時は、もちろん原爆はどこにも落ちて欲しく無かったけれど、落ちてくれたんだ。という気持ちがある。た反面、投下する側としては効果は大きい方が良く、決まっているから当然前がもしないけれど、効果がぐぐぐと投下後の観察をせず、平野を選んだら、戻って写真も撮っていたという事に対しては、宇都宮に落ちたというのをすごく感じました。もちろん落ちた側も大勢の人が自分の車の押しボタンが壊れたという罪悪感や恐怖はあったと思うし、自分の車の名前を機体に付ける程、責任のあった覚悟のある任務だよね。と思う。投下された側はもちろん、投下した側も平和な気持ちではなから、た。と思います。実際に池田陽三さんが涙をこらえながらお墓に伝えようとしている映像を見て、思いたくはないが、あることを必死に伝えられているのに、おびに忘れてしまうのはすごく残念な事だ。と思います。お墓のためにも、伝え下さっている方のためにも今日聞いた事を忘れないようにしたい。と思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

毎年8月6日、9日、15日に私たちは、戦争を体験された方々の方々のために、静かに黙禱をさせていただきます。そして、一年また一年、と時が経ていきます。

戦争を知らない私たちに、当時の事柄を体験された方々のお話を直接聞くと、いや、とても貴重なものであり、決して目を背けてはいけません。そして忘れてはいけないことです。

これまでに、数多くの本を読み、写真集を眺め、ヒストリーの方々のために一生懸命祈ってきた。戦争そのものを体で感じたい限り、全てを理解することは不可能です。

今回、原爆先生の特別授業を受け、私の中に新しい知識、思いをこぼめることができた。7、8年前、広島にある原爆資料館を訪れたことがあった。

当時の私はまだ小学校低学年だったので、『きのこ雲』の写真を見て、広島の写真を見て、「だ、他人事（ひとごと）のうちは驚くばかりで、皮膚の間にだけ女性の模型を見て怖くはり、すぐに目をそらしてしまっていた。こんな恐いことが、日本にあったのだと言われても、今の広島からは全く想像ができませんでした。原爆先生のお話は、話し方、表情、当時の様子を思い返すのに上を見つめる目が、全てを物語っていたように思います。

私たちが見て、聞いたものが、これでもまだ「きれい」とおっしゃるのなら、現実には、更にどれ程可憐なものであったか、と思います。原爆投下候補地に、横浜があった。これに私はものすごい衝撃を受けました。私たちの学校も、はくばかっていたかもしれない。

戦後70年の経つと、語り継がれる原爆の話。それを背負って、よく私たちが、時に目を反らしてはくばかれないで、真正面から向き合っていくべき事柄なのだと、思います。原爆先生、今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆とはとても悲惨だ<sup>じゆこう</sup>と改めて強く思いました。今まで広島や長崎のことについて聞いてきましたが、どのようなものが爆弾として利用されたのか、どのようなアメリカ側の経緯があったのか、実際私には見ることがないけれども、そのときの様子が想像され、とても悲しく思いました。広島のために一生懸命に働いて下さった池田義三さんの活動というものは9日間本当に大変だったのだらうと思いました。池田さんが経歴的に年は今の私(ち)の年とあまりかわりません。死体を運んだり、投下後の人の様子を見たりしていて、本当につらかったと思います。

今の社会ではいろいろな国が原子爆弾を持っているよう  
です。しかもそれは広島におとされた1000倍の威力が  
あることに驚きました。これからの社会では広島・長崎の  
ようなことが2度とおきることはない世の中にしてい  
なければならぬと思いました。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私のひいおじさんは、池田真徳先生のお父さまと同じである「兵隊」というものでした。非、原爆の時 ひいおじさんは広島にいて、原爆に巻き込まれてしまいました。

詳しい話はあつり聞かされていませんでした。広島原爆についても分かっていないのは、毎年、広島原爆の日には放送されるTVの内容だけでした。なので今日、池田先生から原爆について色々な話が聞けるという機会がもたらされたことが本当にうれしかったです。

「原爆は怖い」という印象は前から自分の中にあつました。けれど、今日の話を聞き、この言葉だけでは言い表すことができない感情が私の中に生かれました。私も原爆を経験してはいますが、先生の話がとても鮮明であつても自分自身も原爆を経験しているような気持ちになりました。

原爆が落ちた中心部にはこの被害状況などを聞き、痛々しい姿が脳裏にうかびとても怖かったです。

私のひいおじさんの身に何が起つたのか今日、先生の話を聞き、「あの父」と興味をもちました。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

原爆のことについては毎年終戦記念日前にやる戦争特集番組を観て

勉強してはいたが、ここに詳しく聞くのは今日が初めてでした。

原爆による被害は私が思う以上に遥かに大きく、悲惨でした。

そして被害を受けた方はその後何十年も後遺症に悩み苦しんで

いることを知り、胸が苦しくなりました。

修学旅行に行く前に知っておくことはすごく大切なことで、改めて

知ることの大切さに気付くことができてきました。

今日は貴重なお話をたくさん聞くことができてきました。

ありがとうございました。



じゅぎょう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日のお話を聞いて、原爆について知らなかったことがたくさんあり  
 おどろきました。今私はあまり原爆の恐ろしさを  
 想像することはできなかったけれど、原爆のくわしい情報を知ることができたので  
 主に、もし原爆投下の候補が横浜に決定していたら長崎の時のような状況だったら、  
 3kmぐらい離れた爆心地が横浜の住んでいる所だと想像してあげても、  
 今の自分には存在していないかもしれない、ととても怖いのです。  
 主に、映像を見ていても通り生活している人も一瞬にして命がうばわれてしまう  
 程のいびくをもった原爆爆弾が長崎と広島に落とされたこと、その中の内ランが  
 全部核分裂して何と何とにはなっていたか、またその1000倍を超える技術をもった  
 核兵器を所有している国がいくつもあることなどたくさん考えさせられることがありました。  
 日本は世界で中くらいの被爆国だから、二度とこのようなことがおきないように  
 世界にものごと伝える必要があると思います。そのために、私も正しい知識をもって  
 伝えたいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

私は、小学校の頃に原爆の授業を受けたり、音頭へたりして  
原爆の事を知る機会がありました。その頃から、原爆は  
「おそろしい物」という事しか「ただ」は「然」と言う思っていました。  
今日は、細かい情報や実際、体験された方のお話しを  
聞くにあたって、以前までの考えとまた少し違った「感情や」  
考え方などが変わりました。例えば、太陽の表面温度が  
6,000℃に対して、原爆は、3,000℃という鉄が溶ける程の  
温度であり、衝撃波は、音速よりも速い440m/秒である  
という事や体験された例（黒い影が残った話）などから、  
頭が真っ白になる程、衝撃を受けました。

最後に、池田義三さんのお話しされている映像を見させて  
頂き、これまでにない何とも表現できない感情、気持ちに  
なりました。

この授業を受けて本当に良かったです。このお話しを頭に  
入れて、しっかりと、広島を見てみたいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

私は小学生の時から原爆についての話を聞いたことがありましたが、ここまで詳しく話を聞いたのは初めてでした。

原爆先生から頂いた資料には原爆について色々な事が載っていて、初めて知った事がたくさんありました。原爆投下にはこんなにたくさんの候補都市があったことに驚き、その時の気象条件などによってどの都市に原爆が投下されてしまうのかが決まることに更に驚きました。また、原爆のあつさにも衝撃を受けました。自分の身近な物とくらべてみると、本当にすさまじいものだということが分かりました。



原爆先生の特別授業をじゅこう受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/14

原爆を実体験された本人からのお話で日々お話を聞くと、その最も身近な存在である息子さんからお話を聞くことができて良かった。自分の祖父は土くすり、祖母は戦時中にお話を聞いたら、そのことがよく、その中でも広島や長崎の方に親族が多いので、とても良い機会だった。原爆についてのおおまかな知識はもともと持っていたものの、今日はその理由や細かい情報は知りませんでした。そのため今日まで知っていたことは上着た、丁度いいと思ったことは解決し、原爆についての正しい知識を持つことができた。長崎に原爆が落とされたのは4つの偶然が重なったから、そしてその中で助かったことが多かったのもいくつかの偶然が重なったことにある。そして生死の境目は多くの偶然によって変わったものでないかと私は思っています。そして、このようにお話を聞くことができたのも、色々な偶然を経てお話を聞けたこと、良い偶然があれば悪い偶然もあります。なので今日、このように体験ができたという良い偶然に感謝したいと思います。途中のビデオで原爆先生のお父様のお話を聞いて、やはりお父様は想像がつかない程悲惨な状況で死なれたことが分かります。きっとお父様は思い出し話すことは辛いことであると思います。このようにお父様にお伝えしたことは感謝し、聞くことができないこと、そして、そのことを無駄に聞いただけに留まらずに、後にお伝えしていくことがお父様の役目ではないかと感じました。また、原爆資料館にあるお父様の遺言、お父様の痛々しいものはお父様の、お父様の以上で、このことを意識して、早急にお父様からは見ようと思われました。原爆はお父様の怖い過去として終わらせ、決して忘れぬように、そしてもう一度このお父様が世界で起るために、お父様が努力していくことが大切だと思われています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

私は小学校の時からいわゆる「平和教育」を受けてきました。その中で、この人の戦争体験者の方にお話を伺いました。原爆の候補都市の中に横浜が入っていたことも聞いたことがありました。テレビなどにも原爆について詳しく聞いたのは、今回がはじめてです。今日の講義の中での2つの映像が特に印象に残りました。1つ目の映像はまるで東日本大震災の津波を思わせるような熱風、衝撃波が街を襲っていて、木々ごと普通の生活をしてた人の命が、木々にもあつちまに失われていく光景をみて、とてもショックでした。私にその当時の人の心境がわかるわけがないけれど、私が3月11日にTVで見覚けたショック以上のものを飛行機に乗っていた人は見たことがないと思います。最後の映像では実際の当時者の方のお話を伺いました。私の60年先の未来をよってまで想像もしてません。VR中の池田さん、と云う方がいます。でも60年の時を超えてお涙を流すほどに鮮烈な記憶というものを云う方がいます。その時の広島は本当に地獄で命乞いをする人の命を助けたらいい、という行き場のない罪悪感というものがあるから感じられたと思います。今、私に何を生きるかという戦争の真の怖さをみることはできないというのはとても悲しいです。それから、科学技術がすすんでいくと思いますが、それによる戦争、原爆のような悪い方向に進まないような社会をつくることは必要だと感じました。このように貴重な体験があることは、とてもおつちだと思います。



名前は表面に記入してください

# 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

私の祖母は出身が広島で、原爆が落ちてしまった  
時に「赤ちゃん」でした。祖母一家は広島市内に「住んで」  
いましたが、ちょうど「その時、引越しの前」市内  
の山の向こうの祖母の父親の奥家に「居て」いた  
そうでした。市内に「帰ろう」としたところ、赤ちゃん「は」  
祖母が「やけど」を負い「帰れなくなり」、その「きっかけ」で  
「被爆せよ」とあった「そう」です。池田先生のお父さん  
も、そのときにいた場所の「おかげ」で「けが」を「受けること」が  
なかったと聞いて、大いに「共通点」を感じました。

また、私の「その」祖父も「軍」にいて「原爆」が「落ちた」とき  
市内の「見まわり」など「を」した「そう」です。その話を聞いて  
とまと同様に、テレビや本から「学ぶ」とは「大きく」違い  
「悲しさ」や「生かされた」を感じました。実際に「体験」された「方々」  
に「比べれば」、小生「は」と「か」も「わかり」ませんが、実際に「ト」を  
通して「語り」られる「話は」この先、後の「世代」にも「伝えて」いかね  
ければ「ならぬ」と「強く」思いました。

貴重な話を「ありがとう」と「い」ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

知らないことが多くて、私は無知だ<sup>じゆう</sup>だ<sup>こう</sup>と思  
 った。「小倉」という市が原爆投下の候補  
 になっていたなんて思ってもいませんでした。  
 ただ原爆を落とすのではなく、条件にあつた都  
 市を探し、計算し、十分な計画をたてて初めて実行で  
 きることなんですよ。正直、横浜と京都に落とさず  
 なくて良かったと思っています。もし横浜に落とさず  
 いたら、私は存在しなかったかも知れません。そう思  
 うとすごく怖いのです。「リトルボーイ」が題材と  
 なった物語を読んだことがあります。製造過程  
 から詳しく記してあったのですが、泣いたのを覚  
 るています。スカイツリーと同じ高さの所に  
 太陽より熱い物が浮上していきるところはとて  
 も想像できません。音速よりも速く、でもゴル  
 フボールの大きさの物が広島全域を襲い、  
 99%の人に被害を与えた原爆は、長所が見当  
 たらないので、麻薬などのようにもう販売・生産  
 をせめるべきだと思ひます



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争というものを体験していない私たちに  
とて、話を聞いても「すこしかった」や「悲惨だ」、  
「たんたん」くらいしか感情が起きない。資料館を見ると  
写真や、実物があったりするから少し想像はできるし、形  
式的に「戦争はしてはいけない」と思う。私たちがびく  
つしたのは広島の実爆ドームを介してもたんたんとしてい  
たことだ。記憶に残っているものをみたらその物に関  
連する事やその時の状況などが鮮明に思い出され  
そうなのに、「何の感情も起きない」という話が今ま  
でに聞いてきたどの話よりも印象に残った。私たちがた  
だ「悲惨だ」と見ている事以上に、実際はもっと悲惨だ  
けで表現できない状況だ、たのた」と実感した。私たち  
若者が戦争についての意識が確実に低いこと、授業で  
歴史の長巻として触れるた「けど終わ、てしまい知識がない  
こと、これは確かなことである。だから「戦争はいいな  
いけど終わ、てしまおうのた」らうと思う。どうしたら当時の悲惨  
さを知ることができるのか分らない。もしかしたら不可能かもし  
れない。しかしまずは戦争を客観的に見ず「まっすぐ向き合うこと  
から始めたい」ことが、戦争を知る第一歩に繋がると思う。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いてみると、原爆の恐ろしさも  
容易に想像出来ました。  
被爆した人々の様子など、聞いても  
とても悲惨だったのだと、これぞもかという  
くらいに感じられました。  
正直、これが本当に起こったことだと受け  
とめるのが辛いですが、こんなにも人は  
無惨で残酷な事をしてしまうのがと  
ろろりを受けました。自分がその時代に  
いたら、生きていけなかったと思います。  
そういう大変な時代を乗り越えた池田さん  
のお父さんはとても強い方だったのだと思いました。  
今だに、当時よりも高性能の原子力爆弾を  
保有している国があると知り、憤りと恐怖を  
持ちました。広島や長崎のような事が今後二度と  
世界のどこかや世界中で起こってほしくない  
です。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/14

戦争があったことは世界史で、たかともちろん知っていたけれど、モ  
リトルボーイが広島に、ファットマンが長崎に落とされたことは  
知らなかったし、東京や横浜に落とされたバンプキンも  
その練習用だったなんて思わなかった。  
もうひとつの結果がわかって、そのために二二オプ、人を殺せる理由も  
わからない。人を殺す道具を運ぶものに、お母さんの名前をつける  
なんて人間としてどうかしているのでは無いかとすら思った。  
当時の技術も思う存分使ったであろう原爆、二二オプの結果  
を残したことに、米軍はなにを感じたのだろうか。「最高」なのか  
「これだけしか殺せなかった」なんかもあるだろう。どちらにせよ  
人を実験台に使っている時点で、二二に慈悲の心など  
あるようには思えない。しかも核兵器は未だ進歩を続けていて  
やろうと思えばまたあんなに恐ろしい悪夢のような出来事を再び  
起こすことだってできるのだ。日本は非核三原則を掲げているとい  
い、どうなるのかわからないのが怖いところだと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

広島市の被爆者の数が人口の半分以上ということが  
 原爆の恐ろしさを語っていると思います。

当時、広島で被害を受けた人は、突然来たと  
 元の原因はよく分かったが、たかもしれないが、  
 得体も知らぬ恐怖におそわれたと思います。

長崎は、偶然に偶然が重なった結果。  
 もしも、〇〇... かなければ、違う場所を襲っていた  
 かもしれないとすると偶然も恐ろしいものである。  
 一番驚いたのは、太陽の温度より熱いこと。  
 しかも60kgのち1kgしか、分裂したから、た。  
 ... 1kg以上分裂してしま、T=5  
 どうなるのか... 。2. 広島市、だけの  
 被害じゃすまないのでは、と思いました。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/14

黒い雨が読んだこととはまた違う視点での原爆に関することを知る事ができた。原爆が落ちるまでの経緯は知らなかった事も沢山あったから知れて良かった。このことは絶対に忘れてはいけない、この事実を知って行くには正しい事だから、今の中学生が高校で広島に行かなくても、このような講演をぜひ受講して悲惨な過去をしっかりと受け入れて欲しいと思った。私の想像をはるかに超えた原子爆弾の恐ろしさ、そんな極地で必死に被害者を助けたり、遺体を運んだ池田さんはすごいと思った。17歳という私とあまり変わらない年で兵隊になり、国のために戦うという事実があったことを改めて実感した。私がその立場だったら今にも逃げ出したい場面ばかりで、そんな状況の中、そんなことは本当におどろもどろだった。



じゅこう  
**原爆先生の特別授業を受講して**

表

名前は裏面に記入してください

3 / 14

原爆を投下する候補が広島や長崎以外に小倉 / 横浜 / 京都があつた事に  
驚きました。この都市に住んでいる人々は何も罪がないのに14万人が犠牲になつて  
しまうのは不合理的な事だと思ひました。

また、原爆を投下したアメリカはどのような思ひだつたのでしようか。国が命令  
されたからといって14万人もの死者や24万人の被爆者の犠牲を出してしまう約3m  
の原爆を簡単に投下できるのか疑問に思ひます。

原爆先生の講演をうけて、私は原爆やこの原爆で生きた方々の  
お話しを聞いて、この世からの生活にとり入れて行きたいと思ひました。  
今日聞いたお話しを友達や家族にも伝えていきたいです。



じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島<sup>の</sup>原爆<sup>について</sup> 私は少し知っていた<sup>はず</sup>でしたが、  
 た<sup>だけ</sup>に<sup>今</sup>のお話を聞いて、自分自身の素晴らしい敬養に  
 感謝<sup>したい</sup>です。原爆<sup>そのもの</sup>の下ささや、温度、被害者の市の  
 状態、そして先生のお子様である兵隊さんたち<sup>と</sup>これらに  
 ついて学<sup>べ</sup>た事は教科書には書いていない事<sup>であり</sup>、貴重<sup>です</sup>。  
 ウラン1kgで広島<sup>の</sup>町が破壊された事<sup>と</sup>、原爆<sup>の</sup>熱の  
 温度が太陽よりも熱<sup>か</sup>た事<sup>が</sup>印象に残りました。  
 100kgで町が焼けつくほど、私は少しも想像  
 することが出来ません。だから60kgのウランが全滅<sup>されて</sup>いたの  
 どの位の威力<sup>か</sup>あったのか。私は驚<sup>き</sup>も落<sup>ち</sup>てきました。そして、  
 人口が6000℃よりも高い7000℃で焼<sup>かれ</sup>た事<sup>を</sup>。  
 本当にびっくりしました。  
 池田先生のお話を聞いて、原爆<sup>に対する</sup>恐怖心が増<sup>した</sup>。  
 今<sup>も</sup>怖い物<sup>ばかり</sup>にこれと<sup>れ</sup>の国<sup>が</sup>原子爆弾を  
 保有<sup>している</sup>ことを信じ<sup>られ</sup>ません。これと<sup>れ</sup>の国<sup>が</sup>原爆を  
 手放<sup>す</sup>時<sup>が</sup>早く来<sup>て</sup>、二度と<sup>の</sup>ついで<sup>の</sup>事<sup>を</sup>に留意<sup>したい</sup>と  
 思<sup>い</sup>ました。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、初めて原爆の話をしっかり聞きました。広島や長崎で原爆が爆発したという事しか知らなかった私にとって、すべてがしりげさ的に、話の途中でも自分の中で色々な思いがまぜりにまぜられて、今更にはいような感情を抱きました。

また、原子爆弾の名前や、アメリカ軍が落とそうとした都市の名前など、詳しくお話を聞くことができて本当に良かったです。その中でも、私が感じたのは、資料に記された"1kg"という数字です。アメリカが日本におとした原子爆弾"リトルボーイ"は、ウランで60kgあったうちの核分裂したのが、この1kgとありました。もしこれが、60kgすべて核分裂していたら、被害は広島だけじゃなくて、他の地域にも被害をあたえ、より多くの方々の命が失われていたと考えたとぞっとしました。

また、ドキュメントを見たアメリカ軍が広島・長崎に爆弾を落とすシーンは、本当に心が痛く、一瞬の光が自分に何が起ったのか分からないまま、被爆した人々をみます。そんな人々を思うと辛いです。運がよくて命だけ助かったか、亡くなった方々の死体などをトラックにのんで運ぶというのは、本当に精神がくらくらしています。70年前、日本でおこったこの悲劇は出来事がこの先ずっとくりかえす事はないことをわがいます。今日は、ありがたうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話、戦争の話は今まで資料を言ったり授業で学んだりは  
していたけど、実際に経馬先生の生の声で聞くのは初めてだったの  
今まで一番心に刺さりました。

戦争関連の話は生々で残酷な部分が多く、正直見るのも聞くのも  
嫌でした。しかし、それによって自分過かせることが戦争の風化につながって  
しまふのだと気づかされ、嫌いだといっていた自分が耳がかかくなりました。

日常生活で突然原爆を落とされ、一瞬に命をうばわれ、  
足跡もなくなりました。たまたまの人たちのことを思うと、今こうして  
何事もなく生活できていることに感謝をしたいです。

現在、化学技術の進歩などで人間では手に負えないような  
様なものが発明され、利用されています。自分の力を見せつけるため、だったり  
自己中心目的なもののためではなく、世界の平和のために、利用されています  
ほしいと思います。

世界で唯一の被爆国として、原爆で命を落とされた何の罪のない人たち  
の分もいできることから戦争について、原爆について考え、発信できるように  
毎日を生きていきたいと思っています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆という大変なことが起こったのか。  
街、建物、人間がいっしょにして世界から  
存在が無くなってしまうということが  
よく先生の話を分かりました。

原爆のことを題材にしたマンガ、小説  
を読んだことはありましたが、  
原爆のいかにいろいろな細かいことは  
知らなかったのでもおぼろぎました。  
にせよ原爆のようなものを使う戦争  
をしてはならないと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

3/14

私は小学校5年生のときに家族で広島に行き、原爆のことも  
ある程度知っているつもりでいました。先生が出してくださった「ワイド」  
もわかったし、原爆の仕組みや目的地の決め方なども祖父など  
から聞いていたので自分の知っていることを確認するようなことがたくさん  
ありました。しかし、その体験記は聞いたことがなかったため、驚くこと  
もたくさんありました。善三さんが体験した9日間の内1番驚いた  
のは原爆が投下されたときの自分の位置などの偶然によって被害の状  
況が変わってしまうということでした。何度かこのようなことは聞いたこと  
はあってもなかなか実感は沸かなく、想像しにくいものでしたが、善三さん  
の話はその光景が頭に思い浮かび私は恐怖を感じました。ある人は  
何かの影にいてから軽傷で済んだけど、またある人は外で何かを  
していたために大やけどを負いひどければ死んでしまう。この差を  
間近にした善三さんは私以上に恐怖におそわれたのではないかと  
思いました。私は広島のことについてもいろいろなことを知って  
いると思っていましたが、実際の被害の状況やすさまじい様子を  
知っているわけではなく、数値などのデータしか知らないのだと思い  
ました。私は今日聞いたことを思い出しながら修学旅行を  
楽しめればなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

和の中で授業をうける前まで原爆というものはたしかにたくさん

死者がでてたぶん危険なものであったということは知っていたけど、

自分自身の中であまり身近ではなかったため、2011年3月11日にあった

東日本大震災の影響で被害を受けた福島、原子力発電所の方が身近で

原爆といえば放射能というイメージの方が強かった。

しかし、実際はどうではなくて、3000℃という高温をあげたわけを、

一瞬にして人、建物などを粉々にして放射能以外の被害を

たくさん受けているということが分かった。

また、原爆投下後の街の様子は本当にありえない。光景で死体を処理

するところ、死にそうな人を助けようとする人々のことを考えると本当に苦しく

なりましたと思う。

また、このような事は今後二度とぶこつてはいけないことだと思うから

今日聞いた話をしっかりと考える自分たちの子供、孫の世代へと

伝えること、今私たちができることだと思う。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この講座が行われると知った時は、素直に「聞きたい」と思った。高一の現代文の授業や

日史・世界史の授業で、色々な話が聞きたかったから。

それでも、向かい合えないという問題があり、ちゃんと知りたければ歴史がある

ことも分かっていて、鳥肌を立って聞いた。

一番驚いたのは、原子爆弾の燃線の温度が、太陽よりも高かったことである。人類が

そんなものを作ることができるとの事と、言えど恐怖が込み上げてきた。

しかも、現代では様々な国で当時の1000倍の威力の爆弾が作られている。

大きすぎる話が自分の無力を痛感した。

今日の話聞いて、本当にひどかったな〜と思ったが、耳に入ってくる内容が悲傷すぎて

逆に想像がつかない。また私は、幼い頃に原爆資料館を父と訪れたことがあるが、

見るもの全てがこわくてこわくて目のやり場がなかったのを覚えている。それを実体験者が

生ぬるいと言うのだから、規模が大きすぎてもはや理解できない。

でも、今回の講座は被爆者の姿だけだと、爆弾の具体的な威力、効果の

メカニズムがなかったのだから頭から理解する部分もあった。

聞きたかった話の内容はあったけど聞いてよかったと思う。

全ては受けとめられたと思うけど、しっかりメッセージが伝わってきました。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

今回 原爆先生のお話を聞いて、私が知っていた広島、長崎の原爆の事はごくわちかたなものであり、もっと多くの悲惨な出来事が起っていたのだと知りました。実際に起った話をこういう形で書くことが出来、考えさせられることがたくさんありました。

その時にいた場所や環境によって生死が分けられ、24万トのものが被爆し、14万人の方が亡くなったことから、原爆の恐ろしさや力の強さを感じました。またゴルフボール1コ分のウランが広島、長崎の町が一瞬にして壊されてしまうのは、もし、60kgのウランが核分裂を起し、投下されたらと思うと想像も出来ないうたてです。"もしあの時"と後になつて気付くことがあり、その時の判断が大きく左右されてしまうと思いました。

このお話を心に止め、広島を訪れ、先生を学ぶことを正しく理解したいと思っています。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業で、今まで理解しているつもりだった原爆の話は心から理解できていなかったのだと気づかされました。この授業で感じたことを書けといわれても言葉では表現できないような衝激と、恐怖と悲しみがこみ上げてきたため正確には書けません。当時の様子をその目を見た人の体験談を、その息子さんを通して聞いたというこの貴重な時間を与えられたことに本当に感謝しています。特に印象に残ったのが、先生とお父様のお二人、広島を60年ぶりに訪れた時のことです。資料館のろう人形を見たお父様の「きれい過ぎる」という一言を聞いた時です。プロジェクターにあったろう人形の写真は目をそむけたくなるようなもので、たのにも関わらず、それがきれい過ぎるというのは私たちの想像を絶するような姿だったのだと思います。お父様のようにその過去にしっかりと向き合うというのは本当につらく苦しい事だと思います。今回先生が私たちに伝えてくださった事を私たちも次の世代の人に伝え、自分自身もこの悲惨な歴史に向き合い、考えていきたいと思っています。実際に広島に行く前に詳しいことをたくさん聞くことができて本当に良かったです。最後の先生のお父様のビデオと手紙を聞いている時は、涙が出そうになり手の震えが止まりませんでした。本当にありがとうございました。



じゆこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島・長崎への原爆投下は戦争を終わらせのため  
 には必要なものであつた。アメリカの人々に言つて  
 聞いたことあります。私はそれを聞いてとても驚きました。  
 日本は8月6日、9日は忘れないで毎年おぼえ  
 ている日であり、原爆は大変におそろしく惨いものだ  
 と教えられていたのに...勝戦国と被爆国では全く違つた。  
 今日私は改めて原子爆弾がいかほど私達の想像を超え  
 て非人道的なものであるのかを知りました。人間の体が  
 3~4000℃もの高温の中では水1分がすべて蒸発して  
 体が炭のようになつてしまつたことや、横浜にも原爆が投下  
 されたことも知らなかったことなどを知り背すいばさ  
 りおそろいな思いを何度もしました。  
 戦後に生まれ戦後に育つてゐる私達には子に  
 この事実を知ることがないので、目をそらさず事実をみ  
 ていくと思ひます。



じゆう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

想像が出来る出来ない出来事である原爆の授業。今まで  
 わたしは小学生の時から何度も何度も戦争を体験  
 した。二方の言や原爆の言を聞く機会があまりに  
 ニュース番組では戦争について戦争というものは一  
 どういうものなのか戦争について言葉で知る機会が  
 減っているという問題が報いられています。そんな中、  
 戦争について言葉を聞く機会に出会ったわたしは  
 何を知らず何を知らずして来たのか。良いのではありませんか。  
 自分で知らず知らずのうちに原爆のおそろしさを  
 身でわかって来たのか。戦争という出来事を風化  
 させて来たのか。そして戦争を言葉で表現して  
 いかけて来たのか。知らず知らずのうちに戦争という  
 出来事を知ることになったのか。どういふことなのか。  
 想像が出来ない。現実の事ではない。今わたしたち  
 が生きていくこの世の中で生きていくこととして  
 思っているのか。わたしたちの未来をどうとらえて  
 生きていくのか。何を知らず知らずのうちに今何を  
 出来るのか。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

1945年の8月6日、9日に原爆が投下されたことは知っていたけれど、その中で、こんなに悲惨なことが起こっていたと知って、戦争の残酷さを実感した。

また、そこに落とされた爆弾がどのようなものだったかを知り、それ以上の恐ろしい爆弾が世界に存在

していることに関して、科学が発展している今、現代でも戦争が起こったら、人類はもしかしたら全滅する

かもしれないなと思った。また、広島で5人に2人が

命を失ったことに関して、人間の命は儚いなと

思った。これらの原爆の被害の大きさを知って、

もし8月5日前に日本が欧米諸国に対して降伏していたら、こんなに甚大な被害は出ずに、死者は

もっと少なくなっていたのではないのかな、と思った。

爆弾の熱は太陽以上…。爆弾という馬鹿馬鹿しい

兵器によって、大勢の人が命を失うことを余儀なく

されたという事実は、現代の私達が今最も知って

なければならぬ歴史のつらさだなと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

学校の授業で少し勉強していたが、この中身が授業を知らなくて  
 これまでとはまた違う気持ちになりました。原爆の恐ろしさを  
 今まで以上に知りました。ゴルフボールくらいの小さな原爆が核分裂  
 反応をしただけで、広島・長崎の多くの人が亡くなりました。そして同時に  
 本当に驚きました。私は実際に体験したこともないですし、目で  
 見たこともないのに、お話を聞いただけでもイメージがそこまであきません。  
 なので体験者よりも恐ろしさは半減しているとは思いますが、それでも、とても  
 恐ろしいです。実際に体験した池田義三さんは私たちが見た資料を  
 見て、こんなきれいな世界はないとおっしゃっていました。本当に驚きました。  
 原爆先生は、体験したことの他に私たちにイメージが湧きやすいように  
 効果音や、言葉方を工夫して下さって本当に助かっています。原爆先生も  
 やりたことばっかりあるはずなのに、私たちのような小さな世界に原爆の  
 恐ろしさを伝えるために活動して下さい、本当に感謝の気持ちで  
 います。私も少しでも多くの人に原爆の恐ろしさを伝えることに  
 思います。今日は帰ったら母や父などに話したいと思っています。そして、  
 この中身が授業を知らなくて、これからの社会に向けていきたいです。  
 今現在核兵器を広島・長崎に投下したものの以上の威力を持つ。核  
 兵器を世界各国が持っているそうです。その原爆によって亡くた  
 られた方がいなくなるようにこれから一生懸命生きていきたいと思っ  
 ています。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田さんのお話を聞いて、あらためて原爆での被害のひどさを  
知りました。

はじめに話していた池田義三さんの話での、目の前が「白いより  
青いより黄色いより赤いより光、フラッシュの光より光で目が  
くらみ、とっさに両手で目をおさん親指で目をぶさして、気がつけば  
まわりの建物は骨組だけになり、人は鼻も耳も焼けて開いた  
はく、歯はむき出しになり、目は大きく見開いていて」という話を  
聞かされたら、想像をいたしました。詳しい説明ではっきりと頭に  
浮かび、当時の悲劇の様子を想像できました。

また、リトルボーイの落ちる動画を観て、突然のことだったのと  
あらためて思いました。

何も知らずに静かに落ちる全を吹き飛ばしたリトルボーイの恐ろし  
さを実感しました。

修学旅行の前に予習できよかったです。  
あいやとろがございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

前半の原子爆弾が地面に落下した瞬間を表現した音(先生がマイクで表現した)がとてもリアルだった。先生の話はとてもリアルで、まるで時代が原子爆弾が投下された1945年8月6日9日にタイムスリップしたみたいだった。先生の話を聞いて一番おどろいた事は、広島に原子爆弾が投下されたことにより、死者が人口の40%(5人に2人)の割合だということだ。以前は被害があった地域なんて広島は極一部だろうと思っていたのにそんな事はなく、悲惨な現実だなと思った。また、横浜が原爆投下の候補に入っていたという事も始めて知った。もし横浜に投下されていたとしたら、広島よりも長崎よりもさらに大惨事になっていたんだろうなという事が想像できる。でも、「横浜じゃなくてヨカッマ〜!」と思うのではなく、この悲惨な事実を後世にも伝えなければならない、風化してしまうのを避けなければならないと考えるべきだと思う。これからの課題だと思う。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を聞く前は「小学校の頃から原爆の話をよく聞いていたし、もう聞くことない」と思っていました。でも、私が今まで聞いたことがない話ばかりでした。どうして、原爆投下した場所が広島や長崎だったのか、どのような被害だったのか、自分が思っていたのとは違うことでした。

私は、被害にあった人、亡くなった理由はすべて、大きな焼け畑、建てる物の下にまいたのが亡くなった理由だと思っていたのが、死者の4万人中2万人が一瞬で姿がなくなったりしたこと本当にビックリしました。原爆が地上の温度が3000℃だったのが原因なのも知りませんでした。まず、3000℃もあったことと地上の温度が7000℃だったことも知りませんでした。原爆ドームの本来的形、姿がみんなキレイだったことも想像ができません。

一度も広島に行ったことがなくて、正直な話、原爆の話にはあまり気にしていませんでした。今日の話を聞いて、このようなことが本当にあったことを忘れないようにしたいです。

実際に私たちは体験をしたことがなくて、99% 私たちが死ぬまで体験することはないので、実際に体験した方々の気持ちやどのようなものなのか分かっていよう、私たちが思っている以上の気持ちだと思います。

本当に今回、修学旅行に行く前にこのような話を聞いてよかったです。軽い気持ちで行くのではなく、しっかり行って学ぼうと思うようになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島と長崎に原爆が落とされた事は知っていたけれど、  
 こんなに詳しく、お話を聞くのは初めてでした。私が特に衝撃  
 を受けたのは、原爆投下後の町の様子です。これまでにない  
 悲惨な町の状況で、とても辛い苦しき時を過ごした人々  
 を、実際に目の当たりにした親族の方から詳しく伝えら  
 れると胸が苦しくなりました。また、原爆を落とす候補と  
 なった都市に横浜が入っていた事を初めて知り、とても驚き  
 ました。第2候補だった小倉が、天気が悪く、雲のすき間  
 からの目標地が見えたから、というだけで長崎に原爆が  
 落とされたと聞いて、たったそれだけの事で数十万人の命  
 が左右されるのだと、何ともいえない複雑な気持ちになり  
 ました。そして、実際に爆心地の状況を目の当たりにした  
 池田義三さんが声をもらせて、お話をして下さいって  
 いう映像を見たときに、後世に様々な人の想いを伝  
 えようとしているのだと感じ、今日、このお話を聞く事が  
 出来て、本当に良かったと思えました。修学旅行でも役に立  
 ったと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

以前 あるテレビ番組でアメリカ人に8月15日が何かあった日か知っているか? というような質問をしたところほとんどの人が「分からない」と答えていたのを観たことがある。現代のアメリカ人には終戦の日が知られていない事におどろいた。一方、日本の人々の多くが終戦の日を知っているのは、きっと原爆の影響が大きいのだろう。その位日本にとって原爆を投下されたという出来事は大きな衝撃だったという事が分かる。

原爆については本ほどは知らなかったが、経験者の映像を直接観るのはやはり本とは違い、言葉の1つ1つ、その人の表情などに重みがあり、この授業を受けることがとてもよかった。

原爆投下された当時の1000倍の力がある爆弾を今、色々な国が保有している事を先生がおっしゃった時、近くで「怖い...」という声が聞こえて、私も声には出さないものの、素直に恐怖を感じた。

この授業で学んだ事、感じた事を大切に心に止め、修学旅行にのぞもうと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話は、現代文でやった「黒い雨」を読んでいたのが、少しだけ知識があると思っていましたが、実際の細かい様子や事柄を聞いて、より詳しい原爆の事実を知ることができました。

「人が一瞬のうちに蒸発して消えてしまう」という話を再現したビデオを見て、大やけどをおおって、人がどうかも分からないくらいに真っ黒に焦げてしまったり、皮膚が垂れ下がったツリテという話を聞いて、自分たちと同じ人間がそのようになってしまう姿を想像し恐怖を感じました。また、その様子を写した人達を大勢見て、救いを求める人達を救えずに、ただ遺体の捜索をするしかない出来事があった義三さん達の気持ちを見ると、私たちに想像もできないような悔しがあったのと同じように思いました。もし、今この何事もなく平和に暮らしているこの日本で、このような悲惨な出来事があったということが信じられない、こんな残酷なことが出来たアメリカ軍が許せたいと思いました。

実際の原爆の被害の恐ろしさや悲しみを体験していない私たちが全て知ることが出来ないし、想像も出来ませんが、このように実際にお話を聞くことで、少しでも原爆について知り、出来事を忘れずに後世に伝えていくことが大事だと感じました。

貴重なお話をありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

昨年の夏休みの課題で「黒い雨」を読んだので「広島で何があったのか」というのは頭の隅にあったのですが、直接話を聞いて、本で読んだ時とはちがう感情がたこえんありました。今回の話を聞いて「怖い、グロ、聞きたくない」というのが正直な感想です。日本人であれば「知ってかなくていけない出来事だ」というのは分かっているのですが、何度も耳をふさぎたこえん話がありました。

また、もし、自分が「原爆」の被害にあってしまったらと考えると怖くて仕方がありません。その時の広島の様子を聞くことができませんでした。

リトルボイの原爆の力にも驚きました。太陽と同じ位の温度にもなっていたというの私もには想像できません。

私たちは原爆が落とされた時代に生きていた人たちが話を聞けず最後の年代だとうです。

今日聞いた話を踏まえ、修学旅行の原爆資料館に行くと目を背けなくて1945年8月6日の事を受け取れたとうです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回初めて原爆のくわしい話を聞きました。小学校の時から東京大空襲の話などは聞いてきましたが、今まで幼なすぎて想像もできず、話しは分かるのに、何の感情も生まれませんでした。とても大変な被害があつたのだなあと思つていませんでした。しかし高校生になって国語や、歴史の授業の中で、国々のつながりを学び最終的に第二次世界大戦のことを学びました。そこで初めて日本が被害を受けた理由を知りました。今回の特別授業を聞いていろいろなことを想像し、知り、明くの衝撃を受けました。

原爆の温度や高さが太陽の温度やスカイツリーの高さなどと分かりやすい表現をされていて、恐怖を少しでも分かった気がします。

実際に原爆がおとされた時、現地にいた人の見た状態の話を聞いて、とても悲惨な状態であつたことを知りました。助けの手を差し伸べたのに、焼けて足がおけ、すべり、トラックの荷台から転落し、もっと苦しめてしまったという話は本当に心が痛みます。話しの中でとても怖いと思う場面がいくつもありました。聞きたくないと耳をふさいでしまつたそうでしたが、日本人として目をそむけてはいけなかつたと思ひがんで聞きました。今回このフクなお話しを聞いたのは本当に良い機会だと思ひます。まだまだ原爆のことを知らない人は数えきれないぐらい、たくさんいると思ひます。過去の日本になにが起きていたのか、全てのトコロが知り、二度と同じ事がくり返さないうようにしていくべきだと思ひました。

貴重なお話しありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆の事についての話は、何回か聞いたことがありましたが、しかし、実際に被爆された方のお話を聞くのは初めてでした。

まず私がびっくりしたことは、リトルボーイが意外と小さいことでした。広島市を破かいしてしまうほどの大きさだと思っていた。

そして、9632mの高さから落ちて、600m地点で爆発して、4kmほど被害がおおんできたことに、とてもびっくりしました。このころの化学技術で、こんなことが出来る、今の技術で造らば、どんなすごいものが造られてしまうのか、と、とても怖くなりました。

長崎の方も、1kgのウランで、市が焼け野原に変わったのを知って、すごい事と思いました。

これから世代は、戦争経験者から聞くことが少なくなっていくと思います。なので、この機会をもらったことに感謝して伝えたいかなと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は表面に記入してください

この授業を受ける前までの私の原爆に関する知識は、原爆が落ちた年月日、場所、燃料といった部分的な、極めて浅い知識にだけだった。この授業は目と頭に心に響かせる授業で、何度も目をつぶりたくなり、顔を壁に向けてみた。話の中で「手がズレっとはがれ落ちると聞いた時、私はずと自分の手を見ていた。この赤くなく、ただこれもない自分の手が、他の人からの簡単なカマ表面がズレっとはがれると思うと本当にゾクゾクと鳥肌が立った。困っている人を荷台に乗せようという優しい気持ちでさし出したその手がその力が、他の人を傷つけて痛みをあげさせちゃうというのは心が痛んだ。正直に言って本当に広島で起きた事は想像が足りない。手がどのくらいはれたのか、雲はどのようなだったか、川の死体、その場において、特に7000℃といった温度、痛みはどれほど大きく苦しく辛いものが本当にわからない。わからないなりに考えいくと、底を知らない怒り、悲しみが私の心に生まれた。本当に原爆を落とす必要がある、それまで何も知らない人々を殺す必要があったのか、威力を知るためだけに人々が大切に生きて町をおもちゃのように壊す必要があるのか。京都を候補地から除外して理由が日本の感情を考慮して聞いた「そんなこと考えるなら落とすな!」と強く思った。「7000℃の少年」を超える核兵器を各国が所持していると聞いた「そんな世界に平和はいつ来るんだ!」と感じた。この爆弾は後世の私達に平和について考えさせたのと共に人類をあとがもたなく滅ぼす恐怖の種を植えたと思う。二度とないかもしれない授業を感じたことを忘れぬようにしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私の父が広島出身なので、父方のおばあちゃんからひいばあちゃんからよく原爆の話<sup>話を</sup>聞かされてきました。

おばあちゃんから聞いた話と同じところが今日の授業でもありました。でも今日、今まで知らなかったことをたくさん知ることが出来て良かったです。

中でもとてもおどろいたことは、長崎に原爆を落とすのにかかった時間と、広島に原爆で熱化した原子が

60kg中1kgだけだということでした。60kgすなわち燃焼したと思うと背すじがこわい感じがします。

日本全滅もありえるだろうと思いました。

そして最近では北朝鮮が原爆をミサイルで落とす

というおどろきがありました。

おどろきも言わなければいけないと思います。

原爆を作らなければいけないと思います。

これからPCとかTV<sup>など</sup>で当時のことをよく知ることが出来る

と思うようになりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆についてはテレビのニュースなどで終戦から何年などの特集で知っていました。他に国語の授業で「黒い雨」も勉強したので、原爆の悲惨さなどは知っているつもりでした。

テレビや本にかかっていたことは全て被爆して一般の方でした。しかし、今日聞いたのは軍に入っていた方で今までとはまた違うしやうげきも受けました。例えば川にある死体の話などです。

死体を焼くときのおいや吐き気などの話をきいていると当時の様子が少しだけ浮かんできて何ともいえない気持ちになりました。

今年、世界史、日本史の両方で第二次世界大戦について学びました。

人間は領土やお金のことになると心にも残酷になり、人も何とも思わずに殺したりできるのだと思いました。また、憎しみは憎しみを生おとれやりまけた。広島に原爆もおとれたらやはり

今でも原爆もおとれたことを後悔して、いい人もいるとききました。

きいた時、驚きました。が糸内得もありました。

さらに、授業を受けて戦争はやほりしてはいけないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話<sup>じゅこう</sup>を特別授業を受講して

表

私はこの原爆先生のお話を聞く前まで、自分は以前もTVや本などで原爆の事を聞いたり見たりした事があるからある程度は知っていると思っこんでいました。ですが、原爆先生のお話を聞いたり、実際に体験した方の声を聞き、原爆の悲惨さや残酷さを目にした後の今ではいかに以前の私が無知でむしろ知ることから無意識的に逃げていたのかという事と思っられました。私は、今回の授業でビデオメッセージとして私達に原爆投下されたときの事語ってくれた池田義三さんが当時入隊された時とちやうど今、同じ年齢です。もし私が男性で、その場所に兵隊として行っていたとしたらきっとあまりの悲惨さに泣いて逃げ出してしまふか、呆然と立ち尽くしてしまっていたと思います。実際に体験していない私達は、原爆投下当時の現状、聞こえていた首や声、被爆者の方々の苦しみ、痛み、熱さを想像の中でしか感じる事ができません。ですが、原爆のお話を聞き、そして恐れずに想像し真剣に考え、100%は無理でも少しでも理解しようとするその姿勢が大切なのだと今回の授業で学ぶことができました。このお話を聞く機会を与えられた私達はこのことを周りの人達に伝えていく使命が同時に与えられたのだと思います。なので私はまず身近かにいる家族から伝えていきたいです。そして二度とこのような事が起らないことと祈っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先生の特別授業を受講して、  
改めて原爆は恐ろしいと実感  
しました。

一番印象に残っているのは  
爆弾の威力のことです。

太陽の表面温度よりも  
1000℃も高く、速さが

毎秒440mもあるということ  
に非常におどろきました。

もしこの原爆が今、横浜で  
起きたとしたら、と考える  
と本当に恐ろしいです。

私たちはこんな経験をあま  
りしたことがなくて、今を

あたりまえに生きています。

幸せに毎日を生きているこ  
とに感謝して原爆のことを

忘れお心にためていたいこ  
す。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

池田先生の授業を受講して、原爆の恐しさ、被爆地の悲惨さ、生々しさが伝わりました。経験したことのない私にとっても所々のビデオや語りを聞いてみると怖くて耳をふさぎたくなりました。しかし、私達はこの事実を過去にあった事として目をそむけず、向かい合っていかねばならない。風化させようはいけません。と思いました。

私は原爆投下後の広島の状態しか知らず、授業でも日本側の話しか聞いたことがありませんでしたが、今回、アメリカ側の状況も知ることができ、より深く原爆についてを知ることができました。投下される直前の日常の姿を思うと、その命がとも悔まれません。私がこの文章を書いている時に、もしかしたら投下されるかも知れない。そう思うと本当に怖いです。その時のいた場所、1分1秒が運命を左右したと思うと1時1時が大切なことに気がかされます。この世界に原爆があつてはならないと思います。私達はこの事実をムダにしてはいけません。ここから学ぶことはたくさんあります。経験した世代がこれからどんどん少なくなり、話のできる人は少なくなります。だからこれから社会を作る私たちが語り継ぎ、忘れられないようにしていきたいと思っています。私達が平和な世界をつくりたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回お話を聞いて、知らなかった事をたくさん知った。原爆投下の候補都市が  
 たくさんあったにも関わらず、アメリカ軍の事情や天候などが偶然重なって、広島と  
 長崎に投下されたと聞いて、そんなに簡単に多大な人命が失われて良いのかと思った。  
 投下をまねがれた小倉がラッキーで広島と長崎は不幸だった。と言っただけで片付けられる問題  
 じゃない。原爆投下候補に入っていた横浜に住む自分達も、同じ国で起きた悲惨な  
 出来事に興味を持ち、また知る事が大事だと思った。太陽の表面温度よりも 1000℃  
 高い温度の物体を同じ人間が、人間に対して投下したのかと思うと、エラゲイに乗っていた  
 チバット大佐らはどうな気持ちだったかと考えてみても、今の私達には理解できない感情だと思  
 い。池田義三さんを含む、当時の軍隊の方が体験したことは、実際に原爆ドーム  
 などに行っても義三さんが「綺麗すぎる」とおっしゃる様に、体験とは異なる点も  
 多いと思うから、体験者の口から話を聞けるといのは、いかに重要なことなのかが分かった。  
 今の世界では原爆の1000倍の力を持つ核爆弾を持つ国は多くあると聞いて、二度と  
 悲惨な事が起こらない様に、人々の生活が豊かになるように使われれば良いなと思う。  
 8月6日、我々は8月9日に亡くなった方々にけじめなく、戦争が終わってからも原爆病で  
 苦しむ方がいたことや、原爆の悲惨さを知る事が出来た私達の世代は知らない  
 人達に伝えるいかなければいけないんだと感じた。修学旅行へ行った時には、しっかりと  
 その自覚を持って、学ぼうと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、広島・長崎の原爆は「偶然」の積み重ねだった  
と感じました。広島だって、天候が悪ければ小倉に変わっていた。王張などで広島から  
離れていたら被爆しなかった。池田義三さんのようにトランポリンの後3や、コンクリートの壁  
に守られている場所にいたら...。長崎だって、小倉で失敗していたら原爆が落としたか  
たの厚い雲のすき間がなければ、長崎の人々は被爆しなかった。一つの偶然が積み重  
ねた結果、被爆者数24万人、死者数14万人、死亡率40%という考えられにくい5  
7万人の人が犠牲になれたのだと思います。また、私は体験していないので池田眞徳さん  
のお話を聴いていた時、本当にそんなことはあつたのかと信じられなかったし、怖くて想像  
おこともできませんでした。ウラン1kg(ゴルフボール10)が核反応をおこして、あの破  
壊力である。もし、2kg、3kg...と数が大きければどのくらい強い力があるのか怖くて  
想像できません。私たちのような若い人々の中に原爆を知らずい人もいます。例え、体  
験していないでも、原爆の恐ろしさを伝えるなければならぬといけいんだと  
思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、池田さんの話をきいて、原爆の悲惨さが自分の想像している以上だと感じた。

国語の授業で、「黒い雨」の本を使い、学んだ時は、一瞬熱風が吹いたの地面に人がいたと思わせる黒い影のような跡が残ったということ、皆、皮が焼けただれているため、手を前にたして歩いているというような、原爆時の描写が本には表されていた。

今日聞いた話の中にも、その話があまりなかったが、やはり、文字を読んで場面を想像するより、実際に体験した人によく知っていて、原爆についての理解がすばらしいから話をうかがうのは、違いが大きい、話を聞いたほうが、想像しやすく、非現実的であるようなそのまごとの世界観に入りやすかった。原爆が落ちるまでのビデオを見たが、それはとても怖いものだった。皆、何が起ころうか知らず、いつもの日常生活を送っているときに、4枚の重たい原爆がおちる。それはもう怖いという表現をして、恐ろしいと思った。

最後の方は、博物館の一部の写真を見たが、そこに、皮が焼けただけ、手を前にたしている人の写真があった。池田さんのお父さんは、それを見て、こんな本まい話ではないと言ったというのをきき、私はたださえ、あの写真を見ても恐ろしく、つらいと思ったのに、それ以上は想像がつかないと思った。そこには、本当にその実際の場面を見た人しか分からない悲惨さ、恐ろしさがあるのだと思います。また、私たちには、いくらがんばっても一生分から足りないものだと思感した。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆ドームに実際に行ったことはないのですが、幼い頃に本を読んで衝撃を受けました。本日原爆先生の話聞いてさうに衝撃を受けました。まず原子爆弾の温度です。直径200mで中心が100万℃、表面温度が7000℃のものが地上600m付近にあったという事です。さうに太陽の表面温度が6000℃であるためそれ以上のものを人間があびました。次にその被害者についてです。広島市の人口が35万人で被害者数24万人、死者数14万人。死亡率は40%で被爆率は70%であったと知りました。なのでもその当時の広島市の5人に2人が亡くなったとおっしゃっていました。映像もみせてくれたので、辺り一面が白く光ったり、座っていた人が一瞬にして消えたり、原爆雲がどんどん大きくなって家が吹き飛ばされたりするのを見ました。本当に衝撃がすごすぎたので少し怖かったです。今日の話聞いてまだ知らない人にも知っている人にも伝えていかなければならないし、そして今後このようなことがおこらないようにしてほしいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受けて、何か心が抉られるような感じがしました。71年前にこんな惨いことが起きていたとは、私たちが若い世代には想像することができません。だから、体験者の実体験を聞くことがいかに重要なことであるかを改めて実感しました。私、私たちがそれをどうこれから残していくのかも。

話を聞いていて小学6年生の時に研修で訪れた平和記念公園と資料館が頭の中に思い浮かびました。皮膚が焼けただけ女性、大火傷を負った人、影のようになって黒い炭として残った人のほとんどが映像として頭の中を流れました。そして、ふと気が付けば目には涙が知らぬ内に溜まっていた。“どうして罪のない市民がこんなにも多く死ぬ または負傷しなければならないのか？” “戦争を終えるためにこんなことをする必要があったのか？” 私の頭の中は悲しみ、怒り、疑問のこの3つで頭がいっぱいになりました。

これから先、私たちにやらなければならぬことがあります。一つは、次世代に原爆と戦争の恐ろしさを伝えること。そのために私たちがもっと原爆について知るべきです。そしてもう一つは、世界に対してどのように核兵器の恐ろしさと核兵器を無くすことを訴えることです。これは、原爆を落とされた国の私たちにしかできないことです。私たちが日本人は、この“原爆が自国に落とされた”という事実を忘れてはいけません。今日、学んだことを誰かに伝えこれを第一歩として多くの人に伝えて行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は幼い頃(確か4.5歳の時)、両親に連れられて、  
家族で原爆ドームと原爆資料館を訪れた事がある。

幼なかつた私は、すべての事柄を覚えている訳ではないが、  
今でも当時の私と同じ歳くらいで被爆した少女の髪の毛  
と黒いつめ、そして彼女が持っていた水とうの展示は鮮明  
に覚えている。そして、東京に帰ってきてからも私は原爆ドーム  
原爆資料館そして原爆そのものがトラウマになってしまい、  
それからずっと(両親にも言えなかつたが)いつ原爆が来るのか  
と毎日おびえていたのを今でもよく覚えている。

そして今日、高校生になった今池田先生の貴重なお話を  
聴く機会が与えられた。実は私は幼い頃のトラウマがあつた  
せいで今日のお話を聴きたいという気持ちになつた。しかし、  
実際お話を聴いてみると、幼い頃感じた恐ろげや恐怖は  
あまりなく、“71年前に実際に広島にあつた事実”として聴く  
事が出来た。とても良い経験が出来たと思う。

私にはずっと一つの疑問があつた。それはなぜ両親が幼い私に  
“原爆”を教えたのだらうか、という事だつた。私が思うのは、原爆を知ら  
ない私の両親は同じく原爆を知らない私に原爆を“伝えたから”の  
だらう。そして今日、池田先生のお話を聴く事が出来た私は、その事実を

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

しっかりと理解し“伝えて”いかなければならないのだと思う。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

熱い人が蒸気があると知ってすぐおどろきました。

原子爆弾はとて怖いものなので二度と使っては

いけないと思いました。

もし原爆投下目標地が横浜だったら私たちが住んでいる  
場所の近くにおちることになるのでとて怖くなりました。

戦争から70年が経ち、戦争を経験した方たちと直接

話あことは難しくなりました。でも戦争を忘れるは

いけないし、次の世代にも語り継がなければ

いけないと思いました。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

改めて原爆は怖いなと感じました。あんまり詳しく誰かから教えてもらうことがなかったので授業をしてもらって原爆について沢山知れたのでよかったです。爆発した時に、600mの上空で太陽の表面温度以上の高い温度が発生したと聞いてものすごいあついなだなということがわかった。近くにいた人の話で二人の親子が目の前から消えたと言っていて近くにいた人が急に熱線と衝撃波で消えてしまうのはとても怖いなと思った。広島は原爆はウランを60kgづんでいてその内の1kgが爆発してあんなことが起こってしまったからもっとアメリカの軍事技術が進んでいたらと考えるとおそろしくなる。広島にいた人の5人に1人が被爆者で死者14万人の内2万人は一瞬であとかたもなく消えてしまったから原爆の威力はとてもおそろしいんだと感じた。最後に池田さんの父義三のビデオメッセージで泣きながらこんなもんじゃない。もっと生々しい。と言っていたから手にかかからないほど実際原爆にあった人はすごい怖い体験をしているんだと思ってこわかった。だんだん原爆について知らない人が増えていくと思うから授業を聞いたりにして知ってほしいなと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が一番に思ったことは、「人間はおろかだ」ということ。  
今現在は平和になっているとは思いますが、その平和の土台は、  
数えきれないほどの人の犠牲で出来ている。それなのに  
関わらず、地域紛争、核保有、戦争が出来る憲法など  
世界は平和を求めろりも自国のことしか考えず他国と  
戦争になったときの対処法ばかりを考えている。いつ  
他国から攻撃を受けるかを考えているなんておかしいと思う。  
同盟や条約などを結んだのにも関わらず他国を信用  
せず、戦争兵器の開発をしている。なぜ兵器を作るのか  
なぜ平和を実現することは出来ないのか、なぜ人は争う  
のか……。これらの質問の答えを出す自信が私には  
ない。分からないと言った方が早いかもしれない。  
命は生まれ、命は死んでいく。過去の先人たちが  
犯した誤ちを現代でくり返してはならない。  
これだけは私が今は、きりと言えり言葉だと思つ。  
これから先、世界がどのように進んで行くかは、想像  
がつかない。けれど、一回立ち止まって過去の経験  
をふり返ることも大切だと思つ。いつかは平和を  
実現させることが出来ると思つ、信じている。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆がいかにも残酷でいさんなものかお話しを聞いて伝わりました。

原爆投下候補都市が横浜であったこと、被爆者たちが無惨な姿になっていた事に驚きました。

お話しを聞いて二度と戦争なんかおこしてはいけないしそのためには、私達の子供や高校生や若者が戦争について知らなければいけないと思いました。

今日学んだことを心にとめ、忘れないようにしたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

小学校の頃図書室に「はだしのゲン」があり、あの漫画にかいたある痛々しい場面を今回の話を聞いたら思い出した。

積み重ねた爆弾の中にある60kgのうち70%は1kgの大きさの核分裂した核燃料棒がただの広島市の町がただの焼け野原に変わってしまったことに驚いた。

私たちは原爆を経験したこともないが、1945年の8月6日と9日に何か起きたのかを聞いただけでも恐ろしいのに、遺体の処理の話やウジ虫がわいていて水をとった話を聞くと実際に体験した人達には文章では言い表せないほどの恐怖を味わったんだと感じた。もう戦争のこと、原爆を体験した人はほとんどいなくなっており、やがて体験した人自身も原爆のことを語り継ぐことはなくなっていく時代が近く来ている。けれど私たちが私たちが少し前に生まれてくる人が後に生まれてくる人達に、今回のような話、記憶を受け継ぎ、語る。そして後の人達に伝えていかなければいけないと思った。また世界を巻き込む戦争を引き起こさせたいために今の自分は何かできるか、これもとても考えさせられる授業だったと思う。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

原爆に「これだけ」としか知らなかったけれど、今回原爆先生の特別授業を受講して理解する事ができました。人が一瞬に灰になり消えてしまう、なんて想像ができませんでした。また、影が残っている写真を見るときは本当に一瞬に人が消えてしまったんだと思えました。また原爆が引き起こす被害についても詳しく説明して下さいよと分かったのと同時に、現代では広島や長崎に落ちた当時の原爆よりも何倍も原爆のいかにあると説明して下さいととても恐ろしく思いました。もし今、戦争が始まり核兵器が使われれば、今度は世界中がぶっ飛び飛んでしまうのではないかと三つくらい思いました。和洋の違う原爆の事を知らない若い世代に、このように話はあまり現実味をおぼえずに聞かせることがありますが、原爆を体験し、被爆者としてしまった方々からしたらそれほどでもない事なんだと今回授業を受けて感じました。写真や映像はやはり過去のものが授業中に理解を深めていくのはとても大変でした。池田さんが「少女を背中におぶ」というエピソードを聞いた時、あんな何人か同じような状態だったんだと思うと悲しくなりました。生きている人間にもウジ虫が寄生してしまうんだとあまりにも日常からかけ離れているし、原爆が落ちていくという事事態、現代からは想像ができません。でも過去に確かにそのように悲しい出来事が起きました、ということ私の人生の中で忘れずに生きているように思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

最初 原爆先生の特別授業をうけるという話をきいて  
私は、「毎年、毎年 夏休みなどで原爆の話をして」などで 特番  
をしてるし、どうせ聞いた事があるような事しか話さないだろう  
な。」と 思っていました。

しかし、原爆先生のお話は、私が考えたような話ではなく  
まるで 被爆者の 当本人が 直接 私たちに 話を聞かせてく  
る ように とてもリアルで 話の つづき すごい 重み がありま  
した。先生の話し方は、ほんとうに 私たち 生徒が ドキドキして  
その場に いる だけでも 恐怖が 伝わる ような もの でした。

私は、その原爆が広島に落ちた あの日にタイムスリップして  
気持ち でした。

原爆というものは、とても残酷で 残虐 かつ たくさんの人を殺す  
兵器です。戦争 じたい 良くない、しては ならない 事 だ と思うのに  
原爆というものを 作り出した 人間は 本当に 恐い と感じました。

今までに このような 事 があった 事を 知らないで 生きて いる 人達 が 年々  
に 増えて いく と思います。それを 増やさない ためには、私達 が その  
人達 に 話を して いく 必要性 があります。そして、ついでに、この ような  
事 が 今後 おこらない 可能性 につな がる こと だ と思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「戦後 70 年を 向かえ...」と広島からの中継のニュースが夏放送されていた。今年度で戦後 70 年。日本で平和が維持されて 70 年だ。私は夏休みニュースをよく見ていたがとくに何も感じなかった。というより「悲惨なことがおきたんだなあ」や「平和が続けばいいな」としか考えられず人事のように思っていた。今日、来年の修学旅行のための学習としてお話を聞いた。その話は全てが想像を絶するほど悲惨なものでかなりのショックと何も言えない、言葉では説明できない何かバにひかかった。一番驚いた事は原爆「リトルボーイ」の中に含まれるウラン 60kg のうち 1kg しか反応しなかったと言う事。この時は技術があまり進まなかったりして全部が反応できなかったが今はどうだろうか。どの国も技術の進歩をして、いつだって戦争が起る状況にある。人が人にも簡単に死ぬ、殺せるなど日本中でも世界中でもさんざん教つて来たのに理解できなかった。全身が恐怖に覆まれたような感じがした。私たち 16 歳、高校生は原爆を体験したことがない。恐い事も、つらい事も悲惨さもきっと体験した人と私たちでは感じるスケールが違うと思う。私も皆も同様の大人でさえ何も知らない。知らない事が教えなければいけないと思う。だからこそ、もっともって私たちは知るべきで考えるべきで感じるべきだと思う。そうしてこれから将来を作るべきだと思う。過去を忘れないでこれから考えるべきだと思う。今回の原爆先生のお話が感じた事はまだうまく言葉で

表せたいけれど、聞けて本当に良かったです。と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆についていつ起こったのかや、どこで起こったという  
ことしか知らなかったけれど今回の特別授業でどれだけ大変な  
出来事だったのかを改めて知ることができました。

三学期の世界史の授業の時、先生が「アメリカなど、戦争で  
原爆を落とした国々は原爆を落としたことについて良かったと  
今も思っている。あのことが無ければ実際戦争を終わらせるこ  
とはできたから。」と言っていました。私はその話を聞いたとき  
は、誰もが戦争の終わりを願っていたのだから仕方がない  
とだったのだ、と思っていました。しかし、被害を受けた人々は  
何か悪いことをしたわけではないからあってはならないことだったのか  
とも思います。正直、私は原爆の出来事について正しかったのか  
それとも違うのかはわかりません。でも、二度と起こしてはいけな  
いことだと思います。昨年が戦後70年という年になりました。実際  
に戦争を経験した人々がいなくなっているときに、私達の世代  
が戦争を経験した人々の話を聞き日本ではこんなことが  
起きていたということを忘れずに生きていき、そして次の世代  
にも伝えてこれから世界で同じようなことが起きなければ  
いけないと思います。



じゅこう

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話を聞いて私が思っていたよりもいいものだったと感じた。

7000℃ほど知らなかったし横浜も候補に入っていることも知らなかった。

あとエライヤイという飛行機の名前も爆心地にもいまいち

よくわかっていなかった。この機会に知ることができて良かったと思うし無名の子が島に行かなくて良かったとも思う。

自分では原爆のことは普通に知っていたので

以外と知らなかった。

以外と知らなかったと思った。

また、最後にはオラオの池田さんの父さんの話は池田先生

の言っていたことと比べて聞いて、実体験者の声を聞くと

全然ちがってどんな風景だったのかととても興味か湧いた。

私は島にも長崎にも行ったことが無いので今回の話を聞いて

原爆ドームや資料館に行くのかとても楽しみにした。

また、このことを高一のうちに知ることが良かったと思う。

高2の修学旅行で現地に行きしかり学みたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

わたしは小学生の頃 実際に原爆ドームを訪ねたことが  
あります。

幼いながらも色んなことを感じました。しかしそれが全てであると  
思いこんでいました。

授業で学んだら、実際に被爆地を訪ねたりしてみてもわたしが得た  
のはあくまで客観的な感想で、正直に言うと「昔こういうことがあった」という  
理解でしかなかったのだと思います。

今まで何度か「原爆」というものについて触れてきたが、ここまで  
詳しく実体験者の話を元にしたお話を聞くのは初めてで「聞き終わって  
はじめて自分が今まで知っていたことは真相の一部にあきらない」と  
痛感しました。わたしの想像をはるかに越えたお話しばかりでした。

そしてそこから単なる「理解」のままで終わらぬのがはたして、理解の先  
にある実体験者として関係者の思いをくみとり色んなことを得ることが  
大事なんだと気づきました。

今はまだうまくまとめることができないけれどこれから少しづつ、修学旅行  
で感じたことを含めながら見い出せていきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

池田義三さんが、「言葉で尽くせない」と言っていたのをきいて、原爆の悲惨さが私達の想像を絶するものなのだと思った。私達は今広島に“原爆”がおとされたことを客観的にみているけれど、実際にそこにいた人々は何がおきたか全くわからないわけで、本当に地獄としか思えなかつたと思う。

長崎への原爆降下には4つの偶然がかがわっていたというのを聞いてとても驚いた。

黒い雨という本をよんだ時に出てきた雲や、橋、やけどの状態がよりくわしくわかった。

だけどそんなことじゃなくて私達は被爆者一人一人の体験と生き様を学ぶべきだと思った。

いつか私達もこの戦争を語り継ぐ義務をかうことになるのだと思う。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

話しているのが本当に先生が体験したことのようにリアルで驚いた。

音の再現や映像を取り入れていて、気がいたら終戦直前の広島に自分が立っているような感じだった。

今まで平和教育では「戦争はダメだ」という結果論だけを聞き、その動機が薄々と語られるのを聞くだけで現実味が全然ないつまらない話であった。だが今日の授業は違った。先生は一切「戦争はいけないこと」とは言っていなくて、むしろ自分から「今の当たり前を感じる平和はたくさんの人の命を犠牲にしてつくられたものなのだ。」と初めて自分からそう思えた。泣き叫び、悲鳴をあげる時代を生きた人々を決して忘れてはいけない。

そんな時代の中を必死に生き抜き、命をつないだ人がいることを忘れてはならない。

途中、思わず「原爆投下後の様子が生々しく語られて耳を反けたくなった。だが、それが「戦争」というもので「まぎれもなく「ヒト」自身が引き起こした産物である。」



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は長崎の原爆資料館へ行ったことがある。原爆に  
 ついて何故広島や長崎だったのかわからなかった。また、  
 原子爆弾をおとした本当の理由や、落としたアメリカの人の  
 気持ちについても、今私に日本の方の気持ちや状態、戦争  
 について考えるという発想がなかったが、今日、落とした側の  
 人の気持ちを感ぜられた。そのときのメカニズムや衝撃波や  
 爆発直後にできた熱の元が太陽よりも熱く、広島に落ち  
 たときに何度も模擬の原子爆弾を落とした事も知れた。  
 国語で黒い雨を読み、想像が少しできたが、今日の授業が  
 もっとも鮮明に想像ができた。それ違う人が爆心地に  
 近づくとつれた人間ではなくて、助けを求め手を差し伸べようか  
 めくれば逆に苦痛をうめき泣き叫ぶ人々の目の前には、その方は  
 どう思っていたのだろうか。私は戦争を経験したことがない。私の  
 想像もほとんど間違いだらけだと思う。でも、その間違えているかも  
 しれない戦争の想像が私に戦争はいやだ、と思う。  
 戦争経験者は月日をおうごとにどんどん減っていく。日本に戦争  
 経験者がいなくなっても、戦争という誤りを二度と繰り返さない  
 ために、私たちは過去の記憶から学ばなければいけないと思う。  
 思っているも、行動が初まなければ、思っているのと同じなの行動は、正しい。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

普段からテレビや新聞などの「原爆」について見聞きする事は  
 ありましたが、今回の特約授業はしっかりと原爆の恐ろしさ  
 と向き合う良い機会でした。実際「原爆」が投下された瞬間  
 を見た人の証言を聞いて想像するだけでは、恐ろしい事実を知り、  
 原爆が「人間」に与える大きな被害を知り、皮膚が「水ぶくれ」  
 肺が「すりつぶすの」ように痛く、手を前に出して歩いているという話を聞いた  
 時は、とても信じられなかった。恐ろしくなりました。また、投下された  
 付近では一瞬にして人間が「炭の粉」になったという話を聞き、  
 隠れ場所もなかった。人間の命が「あっという間に失われてしまう」  
 原爆は二度と使えない方がいいと思ってしまう。当時、  
 広島や長崎に投下された原爆は、何回も使われていたのだと  
 聞いて、その破壊力を持つという事は、現在の核弾力の  
 2倍、世界が滅びてしまうほどの威力を持つという事になり  
 ます。先生は、当時の数千倍を遥かに超える威力をもっている  
 おっしゃっていました。二度と、広島や長崎のような被害が起きない  
 ように、今の核時代の生き延びる世の中で「核戦争や戦争」を止める  
 努力がなされるべきだと思ってしまう。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

初めて原爆についてのくわしい話しを聞くことが出来ました。

話しを聞いているときはあまりに現実味がなくて受け入れることが

出来ませんでした。でも、最後の池田義三さんの話しを動画

で実際に見ると、本当にあったことなんだと信じることが

出来ました。池田義三さんの話しを聞いていると、あまり

の悲しさ思わず涙が出てしまいました。きっと思い出し

たくない戦争のことを思い出して話しして私達戦争の知らな

い世代に伝えてくれたことに感謝したいです。

実際に被爆された方の話しを聞ける機会は今なかなか無い

と思うので、今回聞くことができて本当に良かったです。

原爆ドームで見ると、実際におきこ見たものでは違うかも

しれないけれど、少しでも戦争について知れるようにしたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆はどれほどの威力を持っているのかをくわしく  
知ることが出来ました。この授業を受講するまでは、落ちた  
瞬間に爆発することしか思っていませんでした。

7000℃の熱線がどれだけ大きいものを映像などで  
見ると、ほんのわずかがもそれはいかに理解することが出来ました。  
「リトルボーイ」はそれだけ大きいものだという事にも気が付  
きました。

昨年戦後70年を、テレビでたくさん報道されていて、広島に原爆が  
投下された時に実際に経験している人が高齢化して、少なくなっている  
というのを見ました。今まだ生きている人、父親や母親から  
受け継がれてきた人から、少しでも多くの事を学び、次世代にも  
このことがあったということを心に刻みおくことが大切であると  
思いました。私は今回原爆先生から直接、たくさんのお話を  
学べて本当に貴重な時間だと感じました。この学んだことを  
心に刻み、修学旅行で原爆ドームなどを見に行きたいと  
思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田さんがゆっくりとみんなに話しかけるように広島に原爆が落とされる場面について話して下さったことで頭の中で想像しながら戦争について考えることができました。とても印象的だったのはビデオでもあったように1人1人それぞれいつもとかわらない生活を送っていたときに上から爆弾が落下しはじめ地上に付いたときは一瞬にして人々がなくなり建物は壊れていく場面です。色々な映画などでも何か光るものが見えてから一瞬にして見える光景が変わるという場面をみたことがあります。池田さんのお話しをききながら映像をみると母に向かって「いつきます。」「いつらっしゃい。」という会話が最後になってしまったということが自分に置き換えて考えるとどれだけ戦争というものが悲惨なのかということに気付きました。

池田さんのお話しの中で「偶然が重なってこのような出来事をおこした」という言葉が頭から離れません。当時、原爆を落とす候補になった都市が1番は広島、2番目が小倉、3番目が長崎でした。小倉に原爆が落とされなかったのは天候が悪かったからというたったそれだけの理由で原爆が落とされず、天候が悪かったが少し良くなってきたからという理由で長崎に原爆を落とし何万人という死者をたず忘れてはいけない出来事になったというのが世の中でおきたことを考えるだけで胸が苦しい気持ちになります。広島と長崎は天候が良かったという偶然で原爆投下がおきました。この現実を大人になっても忘れずに心に留めておこうと思います。

今回、池田さんの特別授業を受けられたことで得るものがたくさんありました。このような機会を

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com) もうけたらうんとか

感謝と同時に私たちに  
幸せ者だと実感しました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆については、本で読んだりした事がありました。実際に今日のような形で広島で被爆した人の親族の方からお話をうかがうのは初めてでした。特に印象に残ったのは、池田義三さんが、広島で助けた女性から受け取った手紙に対する返事でした。あの時、池田さん達がその女性を助けていなかったら、女性は亡くなっていたかもしれないのに、あのようには戦後60年経った戦争は無い無かったかのような平和な時代を、二人とも幸せに過ごしているという事は当たり前のように素晴らしい事なんだと思いました。戦後70年経った今、70年前に、同じ日本でこのような悲劇があったことがまるで嘘のように日本は平和です。しかし、70年前に戦争があったことは、忘れてはならない事実で、今日のようなお話はこれから先の日本に多くの大切なものを残していくと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

池田さんのお話しが始まるとすぐ私には驚くことがあった。  
それは、17才という若さで戦争に行ったこと、さらに7人の部下が  
いたことである。17才という年齢は今の私としても近い。しかし、  
自分と同じくらいの歳の人々が戦争に行っていたなんて全く  
想像がつかないからである。

また、原爆が広島に落とされたとき、義三さん達は偶然  
トラックが遅れてドラム缶の影のところで待っていたから  
助かったという話にも驚いた。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最近には経験した方々がどんどん亡くなってしまい、戦争や原爆について語ることのできる人がいなくなってしまふのだなと思っていましたが、今回のようにそのような経験をした人から聞いたことをまた違う人に伝えればこのような記憶は消えぬ良い手段だなと思いました。

人間は炭素で出来ているので7000℃によって体内の水分が奪われ、炭になったと聞き、また映像を見て、母親がすごく頑張って産んでくれたこの体が炭になって終わってしまうのはむなしいような悲しいなと思いました。

今の時代はスマートフォンや電家製品、探査器や便利グッズなどすごいと思うことは沢山あるけれどそれとは違い70年程前にアメリカで何十万人も殺せるような爆弾があったことに驚きました。今回の講座では、8月9日長崎には大雨が降っていたことやゴルフボール1コ分のウランで何十万人もの人が亡くなったことなど知らなかったことが沢山ありました。記憶がなくならないようにしっかりと覚えておきたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆についてある程度、知っていたつもりだった。でも、それは大きな間違いであったことと知った。

1つ目におどろいたことは、「横浜」が原爆投下候補地にあげていたこと。こんなことを広島や長崎の人に言ったら怒られるかもしれないけど、横浜ではなくてよかった、と思ってしまう。

2つ目は、もしかしたら、原爆が投下されたのは、小倉だったかもしれないこと。もし、機体トラブルもなく、天候も晴れていたら、小倉に落とされていた。いろいろなことが重なって長崎に投下。自分たちが普通に生活していた中、上空ではこのような話しがされていたのかと思うと恐怖でしかない。もし、長崎も小倉もダメならば海から水中で行うと言っていた。水中ならもっともって被害が大きかったのかもしれない。これ以上悲惨なことなんて考えられないし、ソッとする。

でも、最近被爆者の方や亡くなった方々などには申しわけないが、原爆があったからこそ、今の平和があると思う。もし、何もなくて、日本がずっと戦いつづけたら、もしかしたら今も、平和が訪ずれることはないかもしれない。もっと戦死者かでたかもしれない。原爆は絶対にやってはいけない。でも、それを実際に教えてくれたのも広島、長崎に原爆が落とされたからだと思う。犠牲者のおかげで今の平和がなっていると思う。それを絶対に無駄にはしてはいけない。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は広島、長崎と2回行われて落ちました。歴史の授業で原爆について何度か少し勉強はして下りましたが初めて原爆について考える事が出来たのではないかと  
 思います。昨年、私は長崎の戦後70年記念で公開された映画を見ました。今回の特別授業は広島だったのが場所は違いましたが、その映画にも原爆で何千人もの死者が出たという事を知りました。一瞬にして何千人もの命をうばっていく原爆。  
 た。60kgあたりの1kgのウランだけ下何もかも破壊する。この恐ろしい衝撃波の速さなど。今私には戦争や原爆などについて興味があっても調べたり人から聞く事が出来なかったのが初めて知る事が出来ました。なぜアメリカはおそろしい兵器を使ったのか下下も不思議です。話を聞いて日本じゃなくてもいいじゃないかやなぜ日本にと思っ  
 ています。下すが原爆のおそろしさを知り平和がどれほど大切な事かとあらためて感じました。ほんの少しの物で何千人もの命を奪っていく戦争や原爆について今回の特別授業で皆さんの事を知り学ぶ事が出来た下下な気がします。  
 修学旅行で広島に行き原爆ドームなどを教科書やプリントではなく自分の目で見ますが、少しでも何かを感じられ感じ事忘れず下下後伝えていけたらと思っ  
 ています。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までは、日本史の授業が浅く学んできたけど、知っているつもりになってしまっていた。しかし、今日原爆先生にお話を聞いたことで、被爆された方々の思いや当時兵隊として見えた方々の思いを知ることができた。爆発がどれほど大きなものだったのか、という事を知ることができた。そして、当時の戦場のエリートが印象に残っています。その中でも、原爆先生のお父様が、実際に兵隊として広島に活動されていたエリートが一番印象に残っています。痛け、苦しみに悩んでいる被爆者を見て、涙が止まらなくなりました。涙を流しながらお話を聞いている姿が、今でも目に焼きついています。私たちの世界は戦争、原爆を体験していない人が、体験された方々の話を、次の世代に伝える事ができると思います。今日学んだことを無駄にしないで、しっかりと覚えているようにしたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

被爆者を表現する言葉がとてもし  
生々しく、頭が痛くなるような  
感じがしました。聞いているた  
けで心が不安になり、こんな酷  
い事が日本にあつたのかと思うと、  
今まで詳しく知らなかつた自分と  
原子爆弾を投下させてしまう世界  
に驚きです。聞いたただけでは  
想像しか出来ませんが、被爆者の  
様子を実際に見た人のショックは  
すさまじいと思います。悲惨な事  
を自ら調べる機会はありません  
ので、原爆のお話を聞けて  
とても良かったと思えました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/14

池田真徳さんのお話を聞きました。広島の前爆についてこんなに詳しく知る機会が最初で最後だと思いました。候補になった都市に横浜が入っていることを知りました。一番強とおさやしていた京都は重要な文化財を原爆で壊してはいけないという理由でなれなくなったそうです。広島の前爆ではリトルボーイという原爆が投下されました。名前までは聞いたことがあったけれど、こんなに恐ろしいものなのだと改めて思いました。タイトルに7000℃の少年と書かされていた意味を知りました。太陽の表面度が6000℃にかかわらず、7000℃で爆発させました。私達の想像をはるかに超える暑さだと思えます。広島県産業奨励館の事を今まで原爆ドームと呼んでいたのです。屋根が崩壊し、建物の中は空洞化の状態になってしまったそうです。ビデオも2本見ました。自分達が今まで思っていたこととは全然違う現実を知らされた本当に驚きました。私達は経験していないことだけれど、同じ人間として知っておかないといけないことだと思いました。まだ知らない子供達も沢山いると思います。池田真徳さんのお話が色々な人に広がっていったらいいなと感じました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/14

広島原子爆弾について今まで詳しく学ばないのは初めてでした。

歴史の授業内であまり、戦後の状況を描いたドキュメント等が全てを知った気が

いましたが、初めて知った事多く、実際は人から聞くことも初めてでしたので、  
本当に良い経験をさせてくださいました。

原爆を落とす候補地に広島、長崎、京都、横浜があがっていたことは  
知っていました。新潟もそうであったことを初めて知りました。

また、長崎に原爆を落とす際にはいくつかの偶然が重なった  
という事にも驚きました。今回、特別授業を受講して一番印象に

残ったことは、広島に落とされた原爆である「リトルボーイ」につまみつけた  
ウランが全60kgのうち、1kgしか核分裂を起していなかったという事だ。

広島を壊滅させたほどの威力があったのに1kgであったら、もしも  
全60kgのウランが核分裂を起していたら、と思うと想像をたか

超える威力であり、それと同時に人々への恐怖もとてつもないものがある  
と思います。そしてそれは現代の技術であれば恐らく可能であり、

絶対に止むべき事があるのは明らかです。

戦後71年目の今年、私たちは修学旅行で広島を地入りします。今日、

原爆先生から教わったことを心にとめて現地に訪れ、改めて感じたこと、

学んだこと共に原爆の事、後世へ伝える責任は重大だと思いをしました。

本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

私は以前に原爆資料館と原爆ドームを訪れたことがある。8年ほど前だったのでその内容すべては覚えていないが、戦時中の悲惨な写真、焦げたお弁当などが展示されていたのを覚えている。だが、時間が経つにつれ、記憶が薄れているのも事実である。

今回、原爆先生のお話を聞き、やはり自分は平和ボケしているなあ、と改めて感じた。

途中、目を隠したくなるような写真や映像、聞いではいられないような残酷な被爆者たちの様子があったが、これは70年前に実際にこの日本で起こったことなのである。

私は戦争を体験していない。だから自分の体験として誰かに伝えることはできない。

それでも「私はこの時代にうまれて本当に良かった」と感じるだけではいけない。事実として

知っておくべきだし、それを決して忘れてはいけない。戦争体験者の平均年齢が

80歳を超えた現在、後世に伝えていく人が減ってきている。このままでは記憶が

薄れていってしまうのではないだろうか。薄れさせないためにも私たちの世代が後世に

伝えていくべきだ。5月には修学旅行で広島に行く機会がある。無駄に

しないためにも今日感じたこと、考えたことを忘れないようにしたい。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までに、戦争の体験の話は何度も聞いたことがあったけれど、こんなに衝撃を受けたのは原爆先生のお話が始めでした。私はこんな悲惨な出来事が起こったなんて信じられませんが、「戦争」を深く受け取め、戦争を体験したい私たちが、今度は後世に伝えていかねばならないのだと強く感じました。そして二度と、悲惨な戦争を起こしてはいけない、ということを感じてほしいと思います。今日、広島で落とされた原爆の1000倍の威力を持った核兵器が世界にいくつもあると聞いて、とても恐ろしくなりました。私たちが生きている中で、いつ戦争が起こってもおかしくありません。核兵器を所有している国だ、と、本当に人を殺したくて持っているわけではないと思います。国を守るために、こんなに恐ろしいモノを作ってしまう人間が一番恐ろしいと感じました。核兵器が二度と使われなくてはいけない、ということを中心に留め、私たちに何かできるか、考えていきたいと思っています。貴重な体験やお話が聞けてとてもためになりました。修学旅行をよりいいものにできると思います。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆投下がなぜこの地で行われたのかが広島・長崎共によく理解できよかったです。

また、映像からは当時の悲惨さを感じ、とても哀しい気持ちになりました。たった70年程前ほど前の事だけれども、現在の若い人は私を含め、この戦争について見聞したり、思考したりすることが少ないように感じます。今回の特別授業をきっかけにこれからも色々と考えていければいいなと思う。